

第8期スマートクルーズアカデミーレポート



平成28年5月6日～11日

＜横浜・神戸＝高知＝上海(1泊)＝横浜・神戸

5泊6日at マリナー・オブ・ザ・シーズ＞

主催:大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室

共同企画:全国クルーズ活性化会議(研修クルーズ)

クルーズ・アカデミーの概要

第8期 スマート・クルーズ・アカデミー 2016年第1弾
<横浜・神戸＝高知＝上海(1泊)＝横浜・神戸
5泊6日 at マリナー・オブ・ザ・シーズ>



シップデータ

総トン数:138,279トン 全長:310m 巡航速度:22.0ノット
 乗客定員:3114人 全幅:48m 就航年:2003年11月
 乗組員数:1185人 喫水:8.8m



スマートクルーズアカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

日	月日	寄港地	入港	出港	食事	宿泊
1	5/6(金)	横浜(大黒ふ頭)		15:00	🍴🍴	船中泊
2	1 5/7(土)	神戸【OP】	14:00	20:00	☕🍴🍴	船中泊
3	2 5/8(日)	高知【OP】	7:00	15:00	☕🍴🍴	船中泊
4	3 5/9(月)	終日クルーズ			☕🍴🍴	船中泊
5	4 5/10(火)	上海(宝山)	8:00			現地の大学生と交流するイベント

6 5 5/11(水) 上海観光後、航空機で帰国予定です。

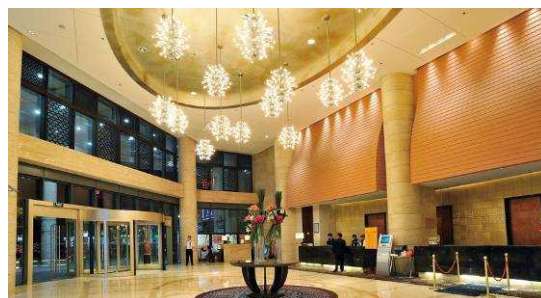
船内スケジュール<★は全員参加です。>

DAY	DATE	スケジュール	入港	出港
1	5月6日(金)	12:30 チェックイン後に乗船 横浜港乗船 15- アイススケート体験、ジャグジー ★20- 夕食 (横浜乗船組:意見交換会) 21:30 SHOWTIME (バイオリン演奏) 22:30-23:30 横浜組み交流会	-	15:00
2	5月7日(土)	午前 スポーツ(ロッククライミング体験) 14- 神戸港入港 14:30-16 学生事前打ち合わせ 神戸国際協力センター(貿易センタービル2階) (14時集合、16時終了)徒歩で港へ 16- チェックイン後に乗船 (神戸乗船組) 17:30 避難訓練(その後受け付け前集合+船内見学) ★18-19 WELCOME PARTY(自己紹介ほか) (DECK14 CLOUD NINE) ★19-20:30- 夕食 (意見交換会) 20:30 マジックショー 22:30 ゼミ交流会(CAFÉ プロムナード)	14:00	20:00
3	5月8日(日)	7- 高知入港 8:30 下船~(徒歩)~高台視察 9:30- シャトルバスで市内観光(高知市内) 14 シャトルバスで岸壁着 14:45 出港セレモニー(よさこい) 15:30 キャラクターパレード ★16-18 学生プレゼン(DECK2 会議室) 「高知港の効率的利活用を通じた日本経済の成長政策」 ★19:30 フォーマルナイト記念撮影 ★20- 夕食 (意見交換会) 21:30 プロダクションショー 22:30 70年代のディスコショー 23:00 自治体関係者と交流会(CAFÉ プロムナード)	7:00	15:00
4	5月9日(月)	終日クルージング(自由行動:船内視察) 8- 朝の運動:ランニング(学生10名参加) ★10-11:30 活性化会議討論(DECK2 会議室) 「日本の地域活性化とクルーズ船誘致」	-	-

		<p>各自治体のプレゼン(各3分)+パネル討論</p> <p>11:30-13 レストランでランチ</p> <p>午後 ロッククライミング、ジャグジー、アイススケートショー</p> <p>★19-20 FAREWELL PARTY(クルーズ体験報告会) (DECK14 CLOUD NINE)</p> <p>★20- 夕食 (意見交換会)</p> <p>22- ダンスパーティー (DECK2 STUDIO B)</p> <p>23-26 CASINO+学生交流会 (船内各所)</p>		
5	5月10日(火)	<p>10- 上海入港</p> <p>11:30- 下船後</p> <p>12:20-13:30-上海財経大学学食ランチ</p> <p>13:30-15 上海財経大学日本語学科学生意見交換会</p> <p>15-22:45 上海観光(豫園、夕食、外灘散策)</p>	8:00	ホテル泊
6	5月11日(水)	上海観光後、空路にて帰国(関空、成田)	ホテル発	日本着

ホテル

[\(上海財大豪生大酒店\)](#)



■ INDEX

第1部<乗船前と乗船時の感想>	1
(1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ：(現在形)	1
(2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った！	4
(3) クルーズ客船が目の前に見えた！大きさに驚きの連続。期待感が膨らむ	6
(4) 乗船直後の感動	8
第2部<クルーズ船>	12
(1) 船内施設（ハード面）の感想(船内施設・施設のレイアウトなど)	12
(2) 船内サービスの感想(食事内容（レストラン・ルーム・カフェ・プロムナード・ホットドッグバー・アイスクリームバー）、サービス・オペレーション（キャビン清掃、ホテルレセプションサービス、カジノ、その他船内の各部門オペレーション）	14
(3) 船内SHOW, エンターテイメントの感想(船内イベント全般、マジックショー、プロダクションショー、アイススケートショー、キャラクターパレード)	18
(4) 船内スポーツ体験施設・内容の感想（ジャクジー、プール、スポーツActivity(アイススケート、ロッククライミング、ゴルフ、スポーツコート)・体験型イベント(70年代ダンス、ディスコダンスなど))	21
第3部 <各港での対応>	25
(1) 横浜・神戸港の感想（港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想など）	25
(2) 高知港の感想（高台散策の感想、乗船下船時対応の感想）	27

(3) 上海港の感想（港・ターミナルの施設評価、下船時対応の感想）	30
第4部 <寄港地の魅力>	34
(1) 寄港地としての高知の魅力	34
第5部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー>	37
(1) 学生提言：事前準備から、発表までの感想、大学間交流としての 意義	37
(2) 学生提言（各班の発表を聞いての感想と提言）	40
(3) クルーズ活性化会議討論の感想	43
(4) スマートクルーズアカデミー内容全般について（学生提言大会、自 治体との交流会、スポーツACTIVITY大会、フォーマルナイト、夜の 交流会など）について	46
第6部 <地域活性化・クルーズ振興>	49
(1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割（港湾関係者の 発表や船内での関係者との議論を踏まえて）についての感想（国・ 自治体政策のあり方など）	49
(2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方（ニーズの掘り起こ しに向けての若い世代からの視点）	52

第1部 <乗船前と乗船時の感想>

(1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ：(現在形)

- ・ 高齢者高所得者が多く乗船するイメージが強く、船内の施設やシアターでの催し、食事等々、格式高いものかと思っていた。また、クルーズといっても目的地や寄港地までのあくまで手段であり、楽しむ余地は限られているのでは、とも。
- ・ ひたすら大きい船、乗っているのは老人ばかり、船内のサービスが充実している。
- ・ クルーズは退職したお金と時間に余裕のある年配の方がのってるイメージなので、若い人はあまりにっていないのではと思う。今回のアカデミーがなかったら、クルーズ船に乗る機会など今後ないだろう。
- ・ 選んだゼミが毎年クルーズに行っているのは知っているけど、実際どんなことをしているのかな。お金っていくらくらいかかるんだろう。楽しみだけ準備とか持っていくものとか不安だな、早く知りたいな。
- ・ 豪華なイメージ。乗船するのも値段が高く、なかなか庶民には手が付けられない感じ。船内の様子もきらびやかなイメージ。
- ・ 前は釜山にしか寄港しなかったが今年はどこに寄港するのか。船内設備(アクティビティ・部屋・ショーなど)は昨年と比べてどうだろう
- ・ 前年度は、ダイヤモンド・プリンセスというイギリスのクルーズ船であり、今年度は、マリナー・オブ・ザ・シーズというアメリカのクルーズ船であるので、イギリスの船とアメリカの船では船の雰囲気はどのように違うのかが気になっています。ダイヤモンド・プリンセスはシックな雰囲気でしたが、マリナー・オブ・ザ・シーズはカジュアルな雰囲気な船だというイメージをもっています。
- ・ 自分のなかでクルージングのイメージは映画のタイタニックのイメージしかないので、あのような華やかな雰囲気を自分が体験できるかと思うと乗船を待ちきれない気持ちで今年もいっぱいだ。
- ・ 昨年度の船と違う会社なので、船の内装は大きく違うのだろうか。また、今年度はスケートリンクが併設されているそうだから、是非とも滑ってみたい。
- ・ 昨年度の船と比較して、若者が多く乗船しているのだろうか。アクティビティが多いそうなので、昨年度よりかは若者受けしそうな気がする。



- ・ 昨年はダイヤモンドプリンセスに乗せていただき、また去年のようにゼミ生みんな
で船内のアクティビティーを楽しんだり他大学の方といろいろな交流ができると思
うと楽しみでたまらない。アイススケート場やクライミングの施設があると聞いて
いたので、ぜひ挑戦したい。
- ・ 今年のクルーズはどこに船に乗ってどこに行くのだろうか、昨年と同じ韓国じゃな
ければどこでもいいなと思う。あと、今回は寄港地がいくつかあるとうれしい。個
人的には長崎や鹿児島に行きたい。長期間のクルーズであってほしい。
- ・ 予算の関係からバルコニー側や海側に乗ることができないのが少し残念だが、内側
とはいえ再びクルーズ船に是非乗りたいと思うので、申し込みたい。本来であれば
クルーズ船に乗るのはもっと高額であるので、このような低価格で学生が乗れるよ
うな値段にセッティングしてくれた皆様に感謝したい。
- ・ 正直、去年クルーズ中に体調を壊したことや、金銭的な問題で、クルーズ自体に参
加するかどうかを迷っている気持ちがあり、悩んでいる。しかし、（去年の経験か
ら）あれほど学生身分には不相応な体験が2度とできる機会もまたないので、参加
できるなら楽しみな気持ち強い。
- ・ 昨年乗ったクルーズ船がイギリス国船で、
かつ少しハイソな雰囲気でしたので、それ
と比べて何か違いのあるクルーズ旅行な
のかどうかは気になっております。また寄
港地につきましても、昨年は韓国の釜山
のみと、出来ればもう少し長い時間をか
けて様々な土地を周りたいたいと思っ
ておりますので、そこも気になります。
クルーズの醍醐味といえば様々な土地
を周れるところだと思いますので。
- ・ 乗ったことがないのでイメージすらわ
かないが、クルーズというのはお年寄
りの大金持ちの人たちが乗るものだ
と聞いていたので、安く乗れると聞い
てラッキー。ただ、授業をサボること
になるのはちょっと不安（まだ授業
の日程すら決まっていない）
- ・ まず、なんとなく高貴なおじいさまお
ばあさま向けの物というイメージがあ
る。恐らく自分の人生とは無縁の物
だろうからなかなか無いチャンスでは
あるが、正直旅行自体そこまで好き
ではないし、高貴な雰囲気も苦手な
ので、参加するかどうか悩ましい。
- ・ 大洗-苫小牧間の1泊2日のフェリー
を利用したことがあり、それとさほど
変わらな



いだろう。大部屋に100人ほどの乗客が雑魚寝して日本各地を巡るのも楽しそうだ。教員の紹介であるので、変な企画でもなさそうだ。

- 酷く乗り物酔いをするので、船は乗ったことが1度もないので申し込みを悩んだ。船というのは、揺れるイメージしかないので申し込みを悩んだ。また、学校の授業と被っていて、休まなくてはいけないところも悩んだ。しかし、思ったより揺れなかったし、行って本当に良かったと思っている。
- まず自分と同じ大学の友達が何人参加するかが気になる。クルージングへの詳細を知ったのが、クルージングの日からあまり期間がなく、参加者が1人だと他大学の参加者が多い中で心細いです。そして他の大学人の話についていけるのか不安。
- イメージは、凄くいい暮らしをしているステータスが高い人向け。申し込みを考えたときの感想は、友達との海外旅行手段にクルーズという項目は今までになかったもので、クルージング体験をしたいという単純な動機。
- 1年以上ロイヤルカリビアン社ではクルーズに乗っていなかったため、短期間で、中国マーケットの拡大に伴って、どのような変化をしているのかが楽しみ
- クルーズには乗ったこともなかったし、周りでそういう話も聞いたことがなかったので、正直イメージというものがあまりない。
- 正直、迷いなく申し込みたい。クルーズの具体的内容を把握していなくて、お金がかかり、学校やバイトを何日か行けなくなったとしても、それ以上の見返りを手に入れることができるのでは。
- まず、クルーズと聞くと船なので、船酔いするんじゃないかという不安があります。私は乗り物酔いをしやすく、船酔いが一番しやすいから、そこが一番の不安です。また、海上にいるときはずっとする事がなくて暇なんだろうなと思うので本を数冊持って行こう。
- 5万円払う価値がある企画なのか考えました。しかし実際参加してみると安いぐらいだとしり、感謝のきもち。
- クルーズ船はとても豪華そうなイメージ。橋本ゼミに入る前から、先輩方がクルーズに参加してきていることを知っていたので、写真等を見てとにかく楽しみという気持ちが強い。



(2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った！

- ・ 船内スタッフは英語を使用すると聞いて、より敷居の高い印象が強まった。一方で、船内にカジノやアスレチック、そしてきらびやかなプロムナードがあるということで、クルーズはそれ自体が一つの行楽施設でもあり、長期の洋上旅行を飽きずに楽しめるよう最大限の仕掛けづくりがなされているのだろう。
- ・ 船内のサービスをすべて満喫できずに終わりそうなくらい、船の中のサービスが充実してそう。
- ・ 船内の案内を見て、船上にアイスリンクやボルダリングなどがあることに驚いた。客室は狭いイメージ。
- ・ 船の中に大きな街があるみたいで、買い物も、ショーを見るのも、いろいろなアクティビティもあって、こんな豪華な船聞いたこともない！早く乗りたい！学校休んで行くのは引け目があるけど、ものすごくいい思い出が作れそう。
- ・ 思っていた以上にアクティビティが多く、楽しく過ごせそう。それ以外では特にイメージの変化はない。
- ・ 前年度は、ダイヤモンド・プリンセスというイギリスのクルーズ船であり、今年度は、マリナー・オブ・ザ・シーズというアメリカのクルーズ船であり、ダイヤモンド・プリンセスとマリナー・オブ・ザ・シーズではアクティビティがどのように違うのかが気になっています。特にマリナー・オブ・ザ・シーズにはボルダリングがあるので、楽しみ。
- ・ パンフレットが配布されシアターやプール、カジノなどがあると知り、想像以上の豪華さのあまり自分なんかは本当にこの船に乗ってもいいのかと今年も少し困惑している。
- ・ 昨年度もクルーズに乗せていただいたが、今年度はアクティビティが多く、楽しみも多そう。また、上海に加えて、高知、神戸にも寄港するので寄港地の情報も入手しておかなければ。スポーツ界のレジェンドたちが乗船しているとのことだが、そのような有名人と共にクルーズ出来ることは大変貴重な機会である。
- ・ ダイヤモンドプリンセスに比べると、スポーツ施設の面でのアクティビティが充実しているのかなというイメージを持っている。また、ショッピングモールのようなアーケード通りがあり、24時間営業のカフェがあることも知り、ゼミ生とゆっくり過ごすことができるなという期待感が生まれている。
- ・ 目的地が上海！とても行きたかったところなので素直にうれしい。寄港地は高知県。何がある県なのか正直知らないのだが、そもそも四国の地を踏んだことがないので



いい経験になりそう。終日クルーズが一日しかないのは残念。

- 以前の船と違い、スケート場やクライミングの施設があることに驚いている。また、プロムナードがあるということで、本当に船の上の街にいるような雰囲気が味わえるのかと非常に楽しみであり、船に乗るのが待ちきれない。早くクルーズ船に乗りたい。
- 昨年クルーズに参加した経験もあり、同じような内容をまた経験すると思っていたが、去年とはまた違ったタイプのクルーズ船で、楽しみ方もまた違ったものになると思われるので、行きたい気持ちが強くなった。去年はただただ圧倒されるばかりだったが、今年は船の中のすべてを網羅するくらい、満喫したい。
- 昨年乗ったクルーズ船とは異なり、ロッククライミングなどのアミューズメント施設が多い若者向けのクルーズだと知りました。ですので、昨年よりも、より色々なことを楽しめるかなという点については期待を持っています。また、去年のイギリス船とは異なりアメリカ船ということで、クルーさんたちや料理、また内装がどのように違うのかが非常に楽しみ。
- 食べ放題、遊び放題ということがわかって、テンション上がる。しかも、今回乗る船はどちらかというと若者向けで、いろいろなアクティビティがあるのもうれしい。一日の過ごし方を見るとものすごくハードそう。
- 想像していた以上に豪華で大きな船である。内装の写真を見ても豪華絢爛とは正にこの事といった雰囲気で、これはとんでもない物に参加しようとしているのではないかと不安になる。もちろん、船内の豪華な食事や豊富なアクティビティに期待する気持ちもあるが、それに勝るほどの不安を感じている。
- どうも私が想像していた船旅とは別次元のもののように。こういった豪華客船に乗るような人は、住む世界が違う富裕層ばかりなのだろう。学生の身分では場違いではないだろうか。不安と好奇心が半々くらいだ。
- クルーズは体験したことも無ければ、やろうと思ったことも1度もないのでイメージが全くわかなかった。概要を知ったときは、こんなことも船の中で出来るんだと驚くことばかりであった。あまり、やることのないのかなと思っていたので、びっくりした。
- フォーマルナイトがあると知り、成人式のために用意した服があるとはいえ、格式というかそんなに畏まっているのかと不安。でもロッククライミングやアイススケートなどスポーツ施設が充実していて、遊びつくそうと楽しみな気持ちもあります。



- 格式のあるホテルのようで期待はさらに高まった。ブランドショップなどもあり、海外の街のメインストリートみたいで興味が湧いた。私は海外旅行手段に飛行機しか利用したことがなかったので、クルーズの概要を聞いてワクワクした。
- 船内には24時間営業のカフェがあったり、ロッククライミングやカジノなど、エンターテインメントが盛りだくさんだと聞いて、クルーズに行きたい気持ちが高まっている。
- クルーズの概要を見て、素直に驚き。船の中にとっても多くの施設があり、それを利用するのが楽しみである。しかし、それを利用できる時間がどのくらいあるのか不安である。時間がなければ、利用できないので、せっかく乗船するからにはできるだけ多く利用したい。
- クルーズの概要を聞いて、船の中に24時間あいているお店があったり、たくさんの娯楽施設があると聞いて驚きました。これまで大きな船に乗った事がないので、船の中にジャグジーやジムがあるということが想像が付きません。乗船がすごく楽しみです。
- 想像もしていなかった豪華船に乗ると分かり気持ちが高まる。
- どんな船に乗るのか知った時、思っていた以上に大きくて、アカデミーに参加することで乗船できるということを嬉しく思う。船内は動くホテルだと聞いていましたが、様々な施設があることを知り、ホテル以上で驚き。

(3) クルーズ客船が目の前に見えた！大きさに驚きの連続。期待感が膨らむ

- 視界にもカメラフレームにも収まりきらないその巨艦の圧倒的な規模、存在感を前に、まさに今から人生初体験の領域、未知空間、異郷地への扉に入っていくのだと感じて胸が躍る。
- これまで見た船ではフェリーが最大だったのでスケールに衝撃！！
- 神戸港では、船の全体像が分からないほど大きく、驚き。船のテラス部分などが見えたときは、こんな豪華な船に乗れるのかと感動。
- うわー大きい、本当に大きい。10何階建てって聞いてはいたけどこんな大きな船がよく海の上に浮いてるなあ。これからこれに乗るのか、楽しみ！！
- 写真などで見ていたのもあり、想像通りの船だったので、そこまでの感動はない。あまりそこまで実感がわいていない状態。



- これからクルーズ船に乗るワクワク感で胸が高鳴る。早く乗船したいという思い。規模感は昨年と同じ。
- 率直に言うと「大きい」、この一言に尽きると思います。窓がたくさんあって、まさに動くホテルといった感じです。ボイジャー・オブ・ザ・シーズに代表されるように、「オブ・ザ・シーズ」シリーズは大きいイメージがあり、実際に、前年度のダイヤモンド・プリンセスよりも大きいように感じられます。
- 去年にもまして大きく感じ、本当にビルが横たわっているようです。こんなに大きな船が水のうえに浮いているなんて信じられないです。船の写真を撮ろうにも大きすぎて全体をおさめることができない。
- 圧巻の大きさ、一見これが船とは理解し難い。このような船の中で、数日過ごせるなど夢にも見ていなかったのでもとも光栄。ただ、横浜のコンテナターミナルからの出発であり、あたりの景色があまり良くないことが、残念。
- 横浜ターミナルからバスで乗船地まで移動した。バスからクルーズ客船が見えた時は「意外と小さいのかな」と思ったが、バスから降りていざ目の前にしてみるとやはり見た目以上に大きく、海上にそびえたつ豪華ホテルを見たような気分になった。船体のエメラルドグリーンが輝いているように見える。
- 昨年と同じくらいの大きさの船とわかってはいたものの、やっぱり大きい。とにかく大きい。コンテナターミナルに着岸していたので周りに何もなくて、その雄大さが際立っている。船の中にめいっぱい部屋とアクティビティを詰め込んでやりました！！！！という外観をしている。
- クルーズ船を間近で見るとは二度目だが、やはり船の大きさに圧巻される。クルーズ船がそこに建っている建築物だと言われれば信じてしまいそうなほどである。このような船に今から乗れると思うと胸の高鳴りがとまらない。早く船に乗って部屋をみて、船の中を探索したい。
- 正直、船があまりに大きすぎるせいで、去年とのスケールの違いが実感できないままである。ただ、大型クルーズ船を目の前にしたときの感動は、去年と変わらず大きなもので、色あせていない。
- 去年もクルーズ船の大きさに圧倒されが、今年も昨年と同様に近づいた際の船の大きさに驚き。去年のクルーズ船との違いを探し見つけようと試みたが、それほど違いを見つけることはできないので(それ程観察することもできなかったのも)、去年の船と形は同じなのかな？
- 手前のコンテナ船みたいな船かと思って少し焦る。クルーズ船を見つけたが意外と小さい。(遠かったため) (近づくとつれて) でかい。とにかくでかい。なんで浮いてるのだろう。
- バスの窓から見え始めた時から海の上に悠然と浮かぶマリナーの存在感は際立っていたが、間近で見るとここまで大きい物なのか。「もはやホテルでしょ」という声

も聞こえてくるが、ホテルでもここまで大きいのは数えるほどしか無いだろうと思う。こんなに大きな鉄の塊が水に浮いていると考えると、なかなか不思議なものだ。

- 確かに大きいけど想像の範囲内の大きさだ、とっていたら全く関係ない船を見ていたようだ。実物は想像をはるかに超えた大きさだ。港に居なかったらホテルと間違えそうだ。巨大すぎて船体全部をこの距離では写真に納まらないことに思わず笑ってしまう。
- 大きい。という感情が1番だった。ただただ、大きくて私たちが乗る船は本当にこれなのかと疑うほど。大きすぎていて信じられない。想像を遥かに超えているので、驚きを隠せない。
- 今まで見たことのある船の何倍も大きく、事前にもらっていた資料で外観を見ていたとはいえ、電車の中から見えてテンションが上がっていきます。船内がどうなっているのか気になります。早く船内に入りたい気持ちでいっぱいです。
- でかい!!!すごい迫力だ!船の上からはどんな景色なんだろう?岸壁で眺めるというより、見上げるという感覚。船内はどんな風になっているのだろうか?とワクワク、ドキドキ!!!
- 「こんな船に乗るの!?でかい!タイタニックじゃん凄い!予想を遥かに上回る大きさでびっくり!
- 想像以上に大きい!事前にどれくらいの大きさであるかは把握していたが、実際に目の前にすると、その大きさに驚き、感動!これからこの船に乗るんだと考えると、わくわく。
- 初めて自分が乗る船を目の前で見て、その大きさにすごく驚き!こんなに大きな船が浮くのもすごく不思議!この船に乗って太平洋を航海して上海まで行くと思うとすごく楽しみな気持ちでいっぱい!船の中で迷子にならないように気をつけなければ!
- とても期待が高まる。こんなに大きなホテルみたいな船に乗って沈んではしまわないかと不安もよぎる。
- パンフレットをもらった時からとても大きいんだろうと想像していたが、目の前にすると迫力がすごくて乗船するのがとても楽しみ!



(4) 乗船直後の感動。

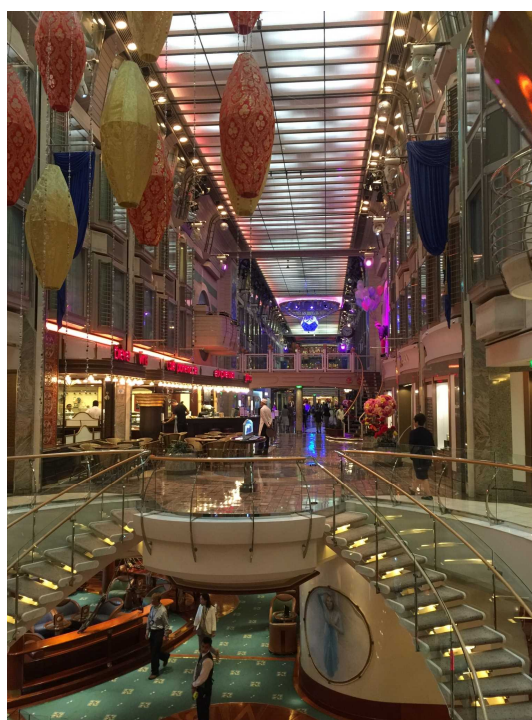
- 照明や壁画など、きらびやかな装飾品の数々に圧倒されている。これは確かに印象通りではあったが、しかし実際に目の当たりにすると、異世界との邂逅のようにすら思えて心が沸き立つ。鳥肌が立つ。

- 船の中は案外普通だなあとと思った。全体的に落ち着いた雰囲気の中だ
- 乗船前に船内の写真は見ていたが、まるで船内に一つの町があるようで驚き。いたる所がきらびやかで、船内を散策するのがとても楽しい。
- 本当に船の中？海の上とは思えない、大きすぎるホテルかなにかみたい。食べ物はどこでもあるし、お金かからないし、アクティビティも想像より何倍も大きいし、多い！すごい！！
- 全体的に思ったよりカジュアル。部屋ももう少し豪華かと思ってた分残念だが、許容範囲、船員さんはみんなよさそうな人。
- プロムナードが想像以上に綺麗で興奮。乗船直後は昨年のクルーズ時の記憶が蘇ってくる、乗船の雰囲気やエレベーターの感じなど。
- エントランスは自分が思っていたよりも、きらびやか。吹き抜けがあり、ブランド店などのお店が並び、カフェ（カフェプロムナード）まで立ち並んでいる様子は、まさに街のメインストリートといった雰囲気。船員さんの態度は、会ったらあいさつしてくれ、気さくな感じがして好印象。
- 去年よりも華やかでびっくり。特にプロムナードは船の中とは思えない広い空間が広がっていて、まるで高級なホテルの中にいるような気分。
- 船に乗り込んで、大きなプロムナードが目飛び込んできた。昨年度の船は、メインストリートのようなものは無かったので、その違いに感動している。また、24時間オープンしているカフェもあり、夜の時間も楽しめそう。この船旅を最高のものにしたい。
- 乗船して船の中を進んでいくと、ガラス越しにメインのアーケード通りが見えてきた。いよいよクルーズの旅が始まるんだなという高揚感が増してきている。ウェルカムパーティも始まり、ダンスをみんなで踊ったりするのも1年ぶりで本当に楽しい。
- プロムナードがとてもきれい！落ち着いた雰囲気だったプリンセスとは違い、いい意味できらびやか、悪く言えばガチャガチャした感じ。船内の免税店はこちらの方が見やすいし購買意欲をそそられる。船内構造がわかりにくいのは去年に引き続き感じた。とにかく道に迷う！！
- 初見は以前乗った船と同じ雰囲気を感じたが、実際に中に入ってみるとプロムナー



ドがずどんとあって、どこの階からでもひろびろとしたプロムナードが見えることが印象的である。本当に海の上にそびえ立つホテルのようで感動する。船員さんも外国のひとばかりでさっきまで神戸にいたのに、いきなり海外トリップしたかのようで、わくわくしている。

- 船員の方の対応は、やはり丁寧でかつ日本のホテルなどよりいささかフレンドリーな部分もあり、大変好印象である。船内では何よりもプロムナードが印象的で、自分が思っていた以上に内装であったり照明であったりが美しく彩られている。
- まず目に入ってきたのはロビー。昨年のロビーとは違い、少しカラフルな感じで、ここも若い人たち向けの少しカジュアルな感じなのかなと感じます。また、船員さんは昨年でしたら東南アジア系の人達が多かったのですが、今回は東南アジア系の人はあまりあらず、行先も関係があるのか中華系のクルーさんたちが多く、違いに驚き。
- 船内では基本英語と聞いていたので勝手に欧米系の人か船員さんなのかと思っていたが、ほとんどアジア系の人ようだ。船に乗ってすぐエレベーターが見えて「本当に船の中にあるのか（笑）」と思う。
- 写真で見た通りの豪華な内装だ。エレベーターもたくさん設置されているし、階段もデパート方式のなんだか豪華な感じ。船員さんも優しく対応して下さって、気分良く過ごせそう。ただ若干揺れるかもというのが気になるところ。
- 大洗-苫小牧フェリーでは小さな入口に
一列に並んで乗船する。それをイメージしてただけにホテルのロビーとなんら変わらず驚いた。エレベータの階数を見ると14まであり、その辺のビルより多いだろう。船員の態度は思っていたよりフランクで親しみやすそう。
- ホテルと変わらないほど綺麗であり、船の中だと思えないほどであった。14階まであって、縦にも横にも広がった。エントランス、船員さんは笑顔で迎えてくれている。さらに、話しかけていただき、コミュニケーションもとれて、英語の勉強にもなる。
- 船内がととても豪華で煌びやかで、その迫力に圧倒されました。広さもショッピングモールに来たのかと思うほどで、お店も立ち並んでおり、船内であると忘れるほどです。船員の方は、笑顔で対応してもらえて、たまに日本語も交えて接客してくだ



さって、とてもよい。

- 船員さんがすごく元気でパワフルな感じで、にこにこしていて印象的だった。私が抱いていたイメージは、ホテルマンみたいな船員さんというイメージだったので、驚き。また、エントランスなど船内は綺麗で、床もカーペット状になっており、高級感がある。
- 自分が貴族になったみたいで、テンションがすごく上がる。大きさもそうですが、内装も私の予想を遥かに上回る豪華さ。
- 船内は、思っていたよりもはるかに豪華で、テーマパークに来たよう。想像では、ホテルのエントランスのようなイメージ。テーマパークとホテルが合わさったよう。
- 船の中はすごく豪華で、想像していたよりもすごくきれいで驚き。船の中心は吹き抜けになっていて天井がとても高く、ただでさえ広い船内をさらに広く感じる。船員さんもみんな笑顔で、船員さん同士も楽しそうに会話していて、すごくいい雰囲気。
- 船内がとても綺麗。また、従業員の方たちがみんな鼻歌を歌ったり、愉快地仕事をされていて、挨拶もたくさんしてくれて、楽しんでいるのが見える。どのように指導されているのかとても気になる。
- 乗船してまず部屋に向かったのだ、とにかく縦長なので迷子になりそうだというのが第一印象。パンフレットでも写真は見ていたが、実際の船内は豪華客船のイメージそのもので、これからの何泊かがとても楽しみ！！！！



第2部 <クルーズ船>

(1) 船内施設（ハード面）の感想（船内施設・施設のレイアウトなど）

- ・ アスレチック施設が相当に充実していて、乗船客の年齢層とのマッチングが出来ていないのでは？などと思っていたが、実際には高齢者の方も果敢にアスレチック施設を利用していたので、むしろしっかりと顧客のニーズを把握しているのだなあと感じた
- ・ ロッククライミングやバスケットコート、卓球台などいろいろな設備があって退屈は一切しなかった。ジムが思っていた以上に本格的で驚いた。寒かったため屋外のプールに入れなかったのが残念だった。いくつかの階が通り抜けできなくて、迷子になったことが何度かあった。
- ・ 2～3日ではたのしみきれない多さのアクティビティに、ショーに、とにかく圧倒されました。一つの船の中なのに、端から端まで移動するのも広すぎて一苦労でした。真ん中の吹き抜けややっぱり開放感があって素敵でしたが、通り抜けできない、とか、船内図がわかりにくいのが少し困りました。
- ・ 乗客は移動するとき、階を基準にして動くことが多いと思います。（実際自分たちもそうでした）船の構造として、例えば、3階の前方に行こうと思った場合、4階から下りないとと行くことができないという構造はわかりにくいので、できれば直してほしいです。（その後の船では、この点改善され、と売り抜けできるようになりました。編集より。）各階の階段・エレベーター付近にあるパネルに、行く場所を入力すると現在地からの行き方を教えてくれるのは良いと思いました。
- ・ どの区画に行ってもとても清潔に保たれていたうえ高級感もあったのでとても優雅で快適な時間をすごすことができました。今年はロッククライミングやスケートもあって退屈しなかった。
- ・ マリナーにおいては、豊富なアクティビティ設備の中、大いに楽しむことが出来た。特に、ロッククライミングでは他では体験できない貴重なものであった。しかし、気温が低かったこともありプールに入れなかったことが心残りであったので室内プールの設置などをしても良いのではないかと考えた。
- ・ ダイヤモンドプリンセスと比べるとアクティビティの施設が豊富だったような印象である。規模も大きい分、部屋の外に出ると、地図がエレベーター近くにしか



かったため、最初は方向を見定められず迷ってしまうことが多いほどだった。メインのレストランが非常に大きく、何階にもわたって吹き抜けのようになっていて、他の場所もそうだが非常に素敵な空間だった。

- 中央にあるプロムナードの吹き抜けはかっこいいと思う。ただ、下層付近では通り抜けができないのは不便だった。(最新の船では改善されています。編集より。)
- エレベーターのスピードが速いのはちょっとした良ポイントだと思う。
- 船内施設自体は充実しており、またプロムナードのおかげで船内での自分の位置が掴みやすく有益であった。しかし、部屋や一部の施設に行くために通り抜けができず戸惑うこともあった。施設のレイアウトとしては以前乗船したプリンセスクルーズの方が全体的に美し買った印象がある。前のプリンセスでは場所ごとにコンセプトが感じられたが、今回は個々の調度品は立派なように見えたが、統一感が感じられなかった気がする。
- プロムナードなどで空間を多くつかっている分、アクティビティが船の外側（主に船上）に集中しているという印象。屋内プールがなかったことを少し残念に感じた。一度ある階に下りないと、目的地にたどり着けないといった構造をまどろっこしく感じた節もあったが、デジタルでの道案内が非常に有効であった。
- 総じて、昨年乗船したダイヤモンドプリンセスとの比較になりますが、今年乗船したこのマリナーは若者向けにどれも造られているなあという感じを受けました。例えばロビーもそうですが、客室の装飾なども昨年と比較するとカジュアルな雰囲気、昨年的高级感のある雰囲気と比べれば少し安っぽい？もしましたが、その代わりに沢山のアミューズメント施設があったのでとても楽しめそうです。
- ものすごく広い割にはどこへ行くにも行きやすいように感じた。プレゼンを行った会議室があるフロアは後ろから前へ通り抜けができなかったので少し行きにくく感じた。
- 4階のように中も外も通り抜けられるフロアはとても移動しやすい。”
- 客室と飲食やアクティビティがフロアで分かれていたので、少しの時間で慣れる事が出来た。エレベーターの近くにそのフロアの地図があったのも、慣れの早さに貢献していると思う。ただ、船は限られたスペースなので仕方無いのだが、豪華な内装と比べると客室通路の幅が狭くや高さも低く感じたので、混んでいる時は圧迫感がありそう。
- 最初はどこに何があるのか分からないが、1日で適応できる。船内に“街”があるのには驚かされた。前方-後方の通り抜けができないところがあるのは不便。ブースごとに雰囲気が違う店が点在して客を飽きさせない工夫をしていると感じる。
- 全ての館内施設を周るととても時間がかかるほど1つ1つがしっかりとしていたし、豪華だなと思った。今までクルーズ船に乗船したことがなかったので、初めて乗船して違った世界を見ることができた。

- ・ 平面の地図ではすぐには目的地に着くことができず、初日は自分の部屋に帰る時も軽く迷子になりました。通り抜けができないのは、多くの迷子を出す原因だと思いました。でも地図は探せば見つけることができたので、すぐに現在位置を知ることができました。
- ・ カジノを初めて間近で見て、雰囲気があって刺激的だった。BARもピアノの演奏があったり雰囲気造りは徹底されており、異国の国に来ているような感覚になった。CAFÉなどごはんを食べれる場所が複数あって驚いた。
- ・ 予想以上の大きさと、初日は迷子になりそうでした。私は施設には満足でした。
- ・ 船内施設は、全体的に見て、非常に満足した。特に、カジノは日本ではできないので、貴重な経験になった。しかし、船内は誰も連絡を取れないので、何か連絡手段があればいいなと感じた。たとえば、掲示板など。
- ・ 船内施設はどれもきれいで良かったです。地図を見ながら行っても何回か迷子になったので、どの階も通り抜けができるとなお良いかと思います。あとはシャワーがもう少し広いと日本人にとっては特に嬉しいのではないかと思いました。私は狭いところが苦手なので、少し怖かったです。
- ・ とても広くてきれいでサービスもよかったですので大満足でした。
- ・ 船内はとても広くて初めは迷路のようでしたが、歩いているだけでセレブ気分になれるような、素敵な気持ちで船内を散策することができました。



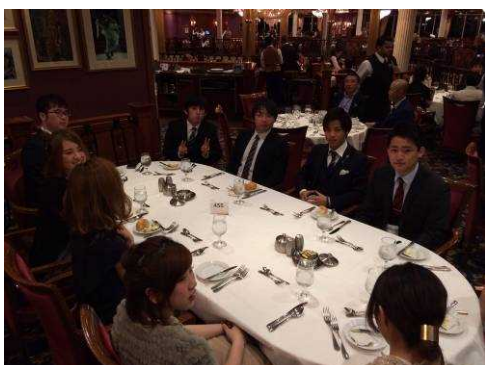
(2) 船内サービスの感想(食事内容(レストラン・ルーム・カフェプロムナード・ホットドッグバー・アイスクリームバー)、サービス・オペレーション(キャビン清掃、ホテルレセプションサービス、カジノ、その他船内の各部門オペレーション))

- ・ 言語で困ることがほとんどなかったのが素晴らしいと思った(英語でスタッフに話しかけたら日本語で返答されたときは面食らった)。
- ・ 食事がとてもおいしかった。・いろんなところで飲めるコーヒーもまたおいしく、優雅に時が流れるのを楽しめた。・ウィンジャマーカフェ出口横ではアイスクリーム食べ放題はうれしい。もう少し味のバリエーションが欲しかった。
- ・ ほとんどの食事が無料で食べれることに驚いた。夕食や昼食は、たくさんの種類から選ぶことができ、毎回とても楽しみだった。屋上で食べられるソフトクリームがすごくおいしかった。客室は毎日きれいに清掃されていた。また、タオルの動物がかわいかった。カジノはやり方がよくわからず、見ているだけだった。

- ・ 食事はどれもおいしかったのですが、量が少し多くて食べきるのが大変でした。一番感動したのは清掃です。一日一回ではなく何度もタオルなども変えてくれたり、かわいいオブジェを残していってくれたり、とても気持ち良く部屋で過ごすことができました。



- ・ 普段、一人暮らしであまりしっかり食べれていなかった分、久しぶりにちゃんとした料理を食べることができてよかった。デザートやコーヒーが無料で食べれるのもよかった。
- ・ カジノは見ているだけでも面白かった。ディーラーたちの目が鋭かった。清掃について、部屋に戻るとタオルで動物が形作られていたのが印象的だった。ちょっとしたサプライズで面白いと思った。カフェプロムナードは24時間営業だったのでたくさんお世話になった。
- ・ レストランでの食事は、おいしく、良い意味で予想を裏切ってくれました。マリナー・オブ・ザ・シーズはアメリカのクルーズ船なので、アメリカ流の大味な料理を予想していましたが、おいしかったです。カフェプロムナードは24時間開いていてとても便利でした。小腹がすいたとき、友達としゃべるときなど、重宝しました。
- ・ カフェプロムナードのコーヒーや軽食は種類も豊富で無料だったのでとてもよかった。ホットドッグのコーナーはおっちゃんがちょっと無愛想だった。
- ・ 船内のサービスについては、至れり尽くせりでとても満足させていただいた。特に、メインダイニングでは最高級の料理をいただくことができた。また、部屋には動物の形をしたタオルが置かれており、部屋の中でもエンターテインメントを味わうことが出来た。個人的には、カジノのルールが良く分からず、悔しい思いをしたので船内でカジノ講習などをやると面白いかと思う。
- ・ 朝はバイキング、昼と夜はコース料理といった感じで常に口に物を入れているというような感じだった。毎食メニューから豪華な食事を選ぶことが本当に楽しみだった。24時間空いているカフェやルームサービスも備わっており、とても便利だった。
- ・ 一昨年、ボイジャーに乗った先輩方から、「ご飯おいしくないよ…」と聞かされていたので不安ながら乗船したが、全くそんなことはなく、どの料理もとてもおいしくいただけました。プロムナードの軽食が24時間いつでも食べれたのに、普通に三食おなか一杯食べてたせいでまったく食べ



られなかった…。部屋に掃除のあと入ると、かわいらしいタオルアートがあってテンション上がった。

- 食事内容については非常に満足度が高かった。わたしはレストランとカフェプロムナードとブッフェしか訪れていないが、どの場所もそれぞれ充実しており、魅力的であった。レストランの食事はボリュームも味も良かったが、ブッフェは予想以上に充実しており、焼きたてのパンケーキやフレンチトースト、オムレツが美味しくて感動した。食事や清掃などのサービスに関しては特に印象に残っているものはないので、可もなく不可もなくという感じだった。ただ、ロッククライミングのところにお兄さんのサービスはとても素敵だった。
- あまり舌が肥えてないため、食事に関して気の利いたコメントはできないが、船も豪華な分食事も何もかも豪華で、自分がセレブであるかのような気分を味わえて非常に満足だった。個人的には、船室のタオルをウサギやサルやゾウといった動物に模してくれるサービスがとても気に入っている。
- 食事内容につきましては、この船内の食事は、昨年のもものと比べるとアメリカ船ということであまり美味しくはない・量がとても多いとうかがっていましたが、そのようなことはなく、どの料理も非常に美味しく、どれも満足できました。また、24時間利用可能なカフェプロムナードは、サンドイッチもありますし、コーヒーも美味しく、本当に便利で非常に気に入りました。
- レストランの食事はもちろんのこと、アイスクリームやホットドッグもとてもおいしかった。バーのスタッフは話しかけると、軽く世間話をしてくれてとても優しくかった。自分の英語力がなかったからかもしれないが、カジノのスタッフはあまり英語が通じないように感じた。
- ダイニングでの食事は言うまでも無く豪華で、ホットドッグバーやアイスクリームバーも小腹を満たすのには十分な味と量だった。部屋の清掃・ベッドメイキングも毎日しっかり行っていた上、タオルで作った動物まで用意していただけて気分良く過ごす事が出来た。
- 朝食バイキングはアジアン・テイストのものが多く好き嫌いが分かれそうだと感じたが、中国人がメインターゲットと聞き、このような味付けであることに納得した。昼食・夕食はむしろ普段の陸の上での生活でもほとんど食べられない水準の高さだった。スタッフのサービスは満足できるものだった。丁寧だが、フランクなので接しやすい。



- ・ レストランでは、高級レストランに来たような感覚を味わうことが出来た。料理も自分の好きなものを好きなだけ味わうことができ、最高の時間を過ごせた。アイスクリームバーは、作り方が日本と違って面白かった。無料で、自由に利用できる場所が多かったのが良かった。
- ・ レストランの食事はおいしく、ビュッフェ形式のレストランは、品数も目移りするほど多く、満足できました。部屋でのタオルで作られた動物は、毎回部屋に戻った際に楽しませてもらいました。部屋は3人で、スーツケースを全員広げられず狭く感じました。でも清潔で綺麗な部屋で、狭さ以外は特に不満はなかったです。



- ・ お金を払わず、これだけのサービスが利用できることが魅力的だと感じた。カフェにおいてある、フルーツ・ゼリー・クッキー・ケーキ・コーヒーなどバリエーションが豊富で楽しかった。アイスクリームをセルフで作らせてもらった。うまくできなかった。
- ・ とても良かったです。清掃係の人をはじめ、乗組員の方々はすれ違ったら必ず挨拶してくれました。英語が聞き取れないときでも丁寧に言って頂き、助かりました。レストランの食事もとてもおいしかったです。あと、ルームサービスでしてくれる、タオルで作られた動物が個人的にとっても好きでした。

- ・ 船内サービスは、とても満足した。とくに、カフェブromナードはいつでも行けたので、非常に便利であった。また、部屋の清掃も良く、清掃後にタオルを使って動物を作って置いていたのは、とても感動した。

- ・ 船内の食事は基本的にはどれも美味しかったです。夜ご飯のレストランは特に美味しかったです。デザート類は私的には少し微妙でした。（味が濃いものや脂分が多かった）ホットドッグバーのホットドッグは、ソーセージの種類も選ぶことができ楽しかったし、美味しかったです。



- ・ 1日船内にいる日もあったのに飽きずに楽しめました。たくさんの催し物がありよかったです。
- ・ 一番印象深いのはディナーを食べたメインダイニングです。特別な時にしかフルコースのようなものは食べる機会がないので、好きなだけ頼めて、値段も気にしなくて良いのでとても美味しく食べることができました。24時間営業しているカフェなども夜に小腹が空いた時など有難かったです。クルーの対応もとても良くて感心しました。

(3) 船内SHOW, エンターテイメントの感想(船内イベント全般、マジックショー、プロダクションショー、アイススケートショー、キャラクターパレード)

- ・ おおむね感動した。キャラクターパレードは正直楽しみ方も趣向も良くわからなかったしスケートショーも手狭感が否めなかったが、プロダクションショーはとても楽しめたので個人的には満足している。
- ・ マジックショーの完成度が高かった。アイススケートショーでも魅了された。ダンスパーティでは普段は見せないハイテンションで楽しむことができた。
- ・ マジックショーは大掛かりなものは分かりやすく、面白かった。カードマジックは何をしていたのかいまいち分からなかった。アイススケートショーは、いろいろな道具などを使っていて、普段テレビで見るアイススケートとは違った面白さがあった。プロダクションショーは、歌も感動したがバックダンサーがかっこよかった。
- ・ そこらここらで音楽のショーをやっていて、しかも毎日プログラムがたくさん変わって楽しませていただけました。アイススケートショーは、船の中で見ているというのも相まってすごかったです。
- ・ マジックショーはよかったと思う。ショーは、もう少しオリティを挙げてよかったのではないかと思う。アイススケートショーもよかった。
- ・ アイススケートショーが一番印象に残っている。間近で滑走やジャンプを見ることができて興奮した。初日のショーも良かった。美女が艶やかにヴァイオリンを弾いていて、いつまでも見ていたいと思った。
- ・ ショーは去年よりも演出や小道具が凝っていて楽しかった。特にスケートショーはかなり感動した。
- ・ 今回の船内エンターテイメントでは、特に、アイススケートショーが特に印象に残った。音楽に合わせて、スケーターが華麗に滑っていく光景にくぎ付けになった。前回のクルーズではこのタイプのショーを楽しむことは出来なかったのが、アイススケートショーが見られることはこの船に乗る大きなメリットになるのではないかと感じた。また、今回は時間的にマジックショーを見ることが出来なかったのが、心残りである。



- 毎日様々なショーを観覧することができた
が、圧巻だったのはアイススケートショーだ
った。目の前でプロ選手がするような数々の
スケートのジャンプ、ポールダンスを取り入
れたショーをもみることができて感動がさ
らに深まった。キャラクターパレードに関し
てはまるでテーマパークのパレードを見て
いるようで楽しむことができた。
- アイススケートショーに関しては、普段見る
ことができないので、ありがたかったです。
客席がアイスリンクに近く、スケーターが間
近でパフォーマンスしてくれたので、大興奮
のステージでした。やはりジャンプのときが
1番盛り上がりますね。キャラクターパレ
ードは、思ったよりもキャラクターがたくさん出てきて、子どものウケが良さそうな
コンテンツかな、と思いました。
- 一日目の台湾人のバイオリニストがいろいろと激しかったので記憶に残っている
(笑)それとアイススケートショーが圧巻だった！通常のダンスショーとは違い、ア
イススケートリンクでのショーは今回が初見だったが、ひんやりとした会場内で妖
艶なエアリアルショーが見れたのは感動。
- 今回のエンターテインメントにおいて、アイススケートショーが群を抜いて素晴ら
しかった。アイススケートショー自体を観るのが人生で二度目で、しかも無料で最
前列から二番目という贅沢な席からじっくりと観ることができたので非常に満足し
た。アイススケーターの方の細かな表情や息づかいまで感じる事ができた。
- このクルーズの旅において、西洋というか外国らしさをもっとも感じた部分のよう
に思う。プロダクションショーでは金管楽器だけでなく、弦楽器やピアノの演奏も
交えて聴くことができ、楽しめた。アイススケートショーは、今まで同じようなた
ぐいのものを全く観たことがなかったので、非常に新鮮で目が離せないものだった。
- プロダクションショーにつきましては、昨年よりも何倍も楽しかったです。フロン
トの4人の歌手の方々の歌唱力も素晴らしかったですし、様々な音楽のジャンルの曲
を演奏しており、最後まで飽きずに楽しむことができました。また、アイススケ
ートショーは、今回のクルーズ船内の中で最も気に入りましたし、とても面白かった
です。キャストの皆さんがまるでプロのスケート選手のように、それぞれの素晴ら
しい演技に引き込まれました。
- バイオリニストが出演したショーも、マ
ジックショーも、船内楽団によるコンサ



ートも素晴らしかった。欲を言えば、もっと日本人になじみ深い曲を多く演奏してくれるとよかった。日本人によるショーなどもあればよかった。

- 毎晩行われるショーはそれ単体でお金を十分取れるクオリティの素晴らしい物であったし、アイススケートショーはあまり広くは無いリンクでありながらもジャンプまで見られたため、とても満足出来る内容だった。
- 船上ということのプレミア感はある。1つ1つを普段楽しもうとすると、移動などを含めて半日は潰れるが、船内なら気楽に顔を覗かせられるのが便利だ。
- アイススケートショーは、個人的にアイススケートが好きで1度みたいなと思っていたので館内でやってると知ってとても嬉しかった。本当に楽しませてもらった。1つ1つストーリーになっていて、雰囲気も違って面白かった。
- マジックショーはほぼ1番後ろの席に座って鑑賞しました。手元をスクリーンに映してくれているが、画質の問題なのか細かく見えず、たまに何が起こったのかわからない時がありました。歌では歌唱力が素晴らしく、バックダンサーもいて釘付けになりました。アイススケートショーでは、初めての生のジャンプと息の合った滑りをみれて、楽しかったです。
- アイスショー迫力があって面白かった。照明などもしっかりしていて、まるでサーカスや劇団四季を見ているかのようで、素敵な時間を過ごせた。スケートリンクがあまり大きさが無いのにジャンプが見れて感動した。
- 私はとても楽しむことができました。恐らくミュージカルを一番初めに見たのですが、外国人による生歌と生演奏に心が躍りっぱなしでした。アイススケートショーも圧巻でとても楽しむことができました。
- 船内イベントは、マジックショーと、山本浩二と東尾修のトークショー、アイススケートショーを見たが、どれも素晴らしく、お金を払ってでも見たいと感じた。それが、無料（クルーズ代に含まれている）ということに驚いた。
- マジックショーは、あんなに近くで瞬間移動を見たのは初めてだったので、驚きました。船内のショーの中でも私が一番感動したのはアイススケートショーです。アイススケートショー自体を見るのも初めてだったし、サーカス的な要素もあって、とても感動しました。
- アイススケートショーにとっても感動しました。私は普段ダンス部として人の前で演技しますが、アイススケートショーを見て、私も人を感動させることができるような演技ができたらいなと思いました。とても楽しかったです。
- エンターテイメントでは、アイスショーがとても感動しました。フィギュアスケートなどでテレビでスケートを見たことはあったので、実際に目の前でスケートリン



クで跳んでいる姿を見ることができて、船に乗ってよかったと思った瞬間でもありました。

(3) 船内スポーツ体験施設・内容の感想 (ジャクジー、プール、スポーツ Activity(アイススケート、ロッククライミング、ゴルフ、スポーツコート) ・体験型イベント(70年代ダンス、ディスコダンスなど)) --

- ・ スポーツ関連施設だけで半日楽しめるほどに充実していて素晴らしかった。特にトレーニングルームは、つつい食べ過ぎてしまう私のような乗船客には大変うれしい施設で、時間が許す限り利用したい施設でした。
- ・ ・アイススケートをする暇がなかった。リンクの開放時間が短かった気がした。 ・ロッククライミングを楽しむことができてよかった。
- ・ アイススケートとジャグジーに入るタイミングがなかったのが残念だったが、ロッククライミングや卓球ができて楽しかった。ジムには本格的なマシンがいっぱいあって面白かった。ダンスはとても盛り上がったが、思っていたより時間が長くて最後の方は疲れていた。
- ・ スポーツ体験施設が豊富で全部回りきれませんでした。ロッククライミングは始めて体験しましたが、想像よりずっとつらくて途中で死ぬかと思いましたが、終わってみると楽しかったです。ダンスはあまり仕組みが良くわかりませんでした。プロムナードでのダンスはとても印象に残りました。
- ・ あまり体験できなかったが、ロッククライミングができてよかった。スケートができなかったのが残念。体験型イベントは、普段あのようなことをする機会がないので、非常に楽しかった。
- ・ ジャグジーがよかった。屋内にあっていつでも入ることができたため。アイススケートもみんな滑れて楽しかった。ロッククライミングもみんなが懸命に上る姿に心を打たれた。プールは水が冷たくてとても入れなかった泣
- ・ アイススケート、ロッククライミング、ゴルフなどは、日常生活でやる機会が少ないスポーツなので、クルーズ船という非日常な空間に、非日常なスポーツができるのは、たいへん貴重だと思いました。しかし、フットサルをやろうと思ったときに、ボールがなかったので、そここのところの備品の管理はしっかりしてほしいと思いました。
- ・ 幾度か行われたダンスパーティーがとても印象に残っている。自分は特にダンスが好きというわけではないが、なかなか友人と一緒にダンスを踊って楽しむという機



会というものはないのでとても新鮮な体験であった。自分から積極的にダンスに入っていくことがあまりできなかったので次にこのような機会があるならばもっと積極的になって楽しみたい。

- 船内では、普段は体験できないアクティビティを楽しむことができ、良い経験になった。特に、ロッククライミングは初めての体験で緊張したが無事登れて嬉しかった。このようなアクティビティを通じて見ず知らずの方とも仲良く話したり出来ることもクルーズの醍醐味であると感じた。また、ジャグジーに入りながら映画を見ていたときはこれ以上は無いくらいの幸せを感じた。ただ、気温の関係上、プールに入ることが出来なかったのが心残りである。
- 無料のジャグジー・プール、ジムや屋外にもパターゴルフのグラウンド・バスケットボールコート・ロッククライミング、さらにはアイススケート場が備え付けられているという点が、体を動かすことが好きな私にとってすごく嬉しかった。70年代ダンス、ディスコダンスは今まで感じたことのない世界観で、いつもの自分を忘れるかのようにノリノリで踊っていた。
- 今年もダンスに参加できてよかった！去年の先輩のように引きこもってはいけないと思ってちゃんと踊った(笑)二年生がのりのりで踊っていて若さを感じた。ロッククライミングは上まで行けなかったのが屈辱的だった…ほとんどのアクティビティに取り組むことができ満足。
- 今回はロッククライミングとジムしか体験していないが、どちらも海の上とは思えないほど質が高いものであった。ロッククライミングはスリリングがありすぎて恐怖を感じ、最後まで登りきることができず落ち込んでいたが、クルーのお兄さんが優しく励ましてくれたので非常に嬉しかった。優しくわたしを思いやってくれたお兄さんのように誰かを優しく支え、細やかな気遣いのできる素敵な人になりたいと思った。
- 海を見ながらランニングができてとても気持ちよかったです。ずっと船の上において、運動不足にならないかと心配していましたが、そんな心配は不要でした。ロッククライミングができなかったのが残念でした。
- 個人的にはプールに入れなかったことが一番の心残りであるが、そのほかのスポーツも充実していて、数日間では満喫できないくらいであった。また、今回の公開で少しゴルフをやってみることができたおかげで、興味をもつきっかけともなった。ダンスに関しては、やはり恥ずかしさや後で来る筋肉痛のことなど考えずに無我夢中で踊ることが大切だと感じたし、悔いの残らないものにできてよかった。



- ・ ジャグジー・プールは、昨年体験することができなかったので入りたかったのですが、屋外で天候のため少し寒かったこともあり断念しました。ロッククライミングは人生初体験でした。船の上ということで、振り返ると海が見えて少し怖かったですが一番上まで到達したときには楽しいという気持ちでした。またダンスはどちらも楽しく、昨年よりも若者向けで、ノリノリで楽しむことができました。
- ・ どの施設も船の上とは思えないくらい素晴らしかった。さらに、今回の乗船客数だとどの施設も混雑していなくてよかった。逆に繁忙期だと今回のようにスムーズに施設を利用するのは困難なのだろうと感じた。ロッククライミングのスタッフがサービス精神旺盛で特に素晴らしかった。
- ・ 初体験のロッククライミングでは命綱系のクルーの遊び心を存分に楽しめて(もちろん安全には十分配慮された遊び心でした)、大海原を見ながらのパターゴルフも不思議な感覚で面白かった。ダンスイベントではクルーの皆さんが盛り上げまくってくれたので、不慣れな僕でも楽しく踊る事が出来た。
- ・ 1つ1つの規模は小さいし整備が行き届いていない箇所もある。けれども船上なら普段やらないこともチャレンジしてみようという気になる。船上というプレミア感もあり、一通り楽しんだ。湯船がないのでジャグジーとサウナがあるのは嬉しい。
- ・ お風呂がなかったのが、プールやジャグジーがあって嬉しかった。クルーズにまさかプールがあるなんて思っていなかったし、こんなにも大きいと思っていなかったのがびっくりした。プールは塩水だった。ロッククライミングは、館内の概要を見たときからずっとやりたいと思っていた。しっかりしていて、本格的だったところに驚いた。
- ・ 風が強く寒い日にジャグジーに入り、久々に湯につかれて温かく気持ちよかったです。1番体験したかったロッククライミングは初の試みで、手と足の置く位置を探しながら登るのが楽しかったです。アイススケートやインラインスケートを体験できなかったのが心残りです。
- ・ ロッククライミングする姿をばっちり写真におさめました。みんな上まで登っていてすごいなと思った。まるで猿のような速さの人もいて、びびった。施設が充実していて、もう少し長い期間のクルーズで、もっと遊びたかったなと思った。
- ・ 私はジムをずっとしたいなーと思っていたので、船内にジムがあったのはと



でも嬉しいことでした。念願のランニングマシーンで運動をすることができ、良い汗をかけました。また、ロッククライミングも初挑戦してみました。思っていたよりも難しく、戸惑いながらもなんとか頂上までたどり着くことができました。楽しかったです。

- スポーツ体験施設があることは良かったが、船内で連絡が取れなかったため、みんなと一緒にという感じではできなかったのも、そこが残念であった。また、ダンスパーティははじめ、社交ダンスのようなものをイメージしていたが、それとは違い、とてもよかった。
- 船内のジムでランニングマシンで走ったのですが、前がガラス張りで見渡す限り海で、水平線を眺めながらのランニングは最高でした。ディスコダンスは、私がダンス部なのもあり、もっと自由に踊りたかったのが本音ですが、楽しかったです。
- 船内の施設に関しては、ジャグジーとサウナしか利用することができなかったです。ロッククライミングなど、時間帯によってやっていなかったり、イベントが開催されていてスポーツコードが使えなかったりしたので、時間が合わず残念でした。

第3部 <各港での対応>

(1) 横浜・神戸港の感想（港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想など）

- ・ 乗務員の方の対応が良く、気持ちよく乗れた
- ・ 神戸港のターミナルはきちんと整備されていて立派だった。乗船の手続きは思っていたよりスムーズだった。
- ・ 神戸港はしっかりとしたターミナル施設があり、手続きもスムーズだと感じました。しかし、まだあまり職員の方が慣れていない様子で、手間取ってはいませんでした。がそのうち問題がおきそうに感じました。
- ・ 神戸港自体は、もともと地元でもあったことから、何度も言ったことがあり、あまり感動もしなかったが、やはり港の近くに商業施設があるし、市街地からも遠くないので非常に設備の整った港だと思った。
- ・ 横浜港のターミナルは洗練されていてオシャレだと思った。が、乗船場所がコンテナターミナルで少し残念だった。神戸港では客船ターミナルが直結していて、更にそこで太鼓でのお出迎えがあつて良かったと思う。
- ・ 神戸港は、三宮からポートライナーに乗って、最寄り駅を降りてすぐのところに客船ターミナルがあるので、便利だと思う。神戸港では、荷物の受け渡しや乗船確認などをスムーズにやっていて、とても良かったと思う。案内があつたことも好評価。
- ・ 横浜港はターミナルと乗船位置がかなり離れていてバスでの移動だったので少し不便であると感じた。
- ・ 横浜大榎橋国際旅客ターミナルは、モダンな建築でありクルーズ利用者へこれからの旅の期待を高めるものであるように思われた。しかし、今回に限ると大黒ふ頭からの出航であり、残念であった。また、神戸ポートターミナルについては、入港時に演奏をして頂けたりと、丁寧に対応していただけた。また、ターミナルが三宮から近いこともあり便利であった。
- ・ 横浜でのターミナルの手続きもスムーズであつたし、乗船口までのシャトルバスがきちんと出ていた点良かったと思う。横浜からの出港時は思っていたよりもあまり盛り上がりおらず、どんなパフォーマンスがあるんだろうと期待があつただけに少し残念だった。神戸港では着港時も出港時もおもてなしが手厚かつたので、すごく嬉しい気持ちがあつた。
- ・ 今回初めて横浜港に行ったが、さすがに日本で古くから開港していただけて、



歴史ある雰囲気味わうことができ、ターミナル施設の規模感が全然違っていた。

「キリン」と普段私たちが呼んでいるものもたくさんあって、さすがの規模だなと感心した。

- 横浜港には初めて行ったが、やはり神戸港に比べコンテナターミナルが多く、（直前にコンテナターミナルを間近で見学していたのもあってか）非常に感動した。ただ、クルーズ船の乗船場から船に乗れないのは一般の人からすると不便だなと思った。
- 神戸港より乗船 昨年と乗船場所が同じであったので、わたしはどこで乗船手続きをすればいいかわかっていたが、初めての人たちは一階におりて乗船をするということがわかりにくかったようだった。しかし、乗船手続き自体はスムーズに行われたため、快適であった。
- 外国への渡航をするクルーズともなると、手続きが煩雑そうといった印象がまずあると感じているが、予想と違い必要最低限で乗船者にとって負担の少ないところをもっとも好印象であった。全国の港湾で見てみても、神戸港はクルーズ船を受け入れる準備が整っている港湾であるだけあって、施設は充実しているなという印象をもった。
- 横浜港は行っておりません。神戸港につきましては、昨年も利用しましたが、綺麗に整備されており、乗船の手続きも、昨年も経験したこともあるかもしれませんが、非常にスムーズに終わらせることができました。ですので、神戸港に着いてから、なにも困ることなく、心配することもなくすぐ船にのることができとても快適でした。
- 横浜：東京に住んでいるので横浜はよく行くが、港には行ったことがなくターミナルも初めて見た。やたら広かった。バスに乗る前に写真を撮ってくれた人がジャッキーチェンの映画に出てそうで少しテンションが上がった。神戸：出迎えがすごかった。お姉さんがきれい。
- 横浜港ではバス移動する前の施設がとてもユニークな形でこれから旅に出るといいうワクワクした気分を盛り上げてくれた。ただ、駅から若干歩くのと最後上りの坂道なのが、大量の荷物を持って動く事を考えると少し大変。神戸港の施設は、出ですぐにモノレール(?)の駅があったので、移動の負担が少なそうで良かった。
- 横浜港のターミナルはデザインも凝っておりクルーズに力を注いでいることが感じられた。神戸港でも出迎えがあり、こういうホスピタリティは自分たちは歓迎されていると感じられ嬉しいものだ。乗船時の対応も丁寧で不満はない。



- ・ ターミナルは、様々なクルーズ客船があつて、多くの客船が入港していた。パンフレットを見つけたが、1ヶ月の入港予定表が掲載されており、種類も多く、自分の予定に合わせて入港できることを知った。
- ・ 乗船時に手続等でとても並んでいたが、整理券の配布であつたり待っている人のために椅子が用意されていて、待つことに苦はなかったです。全体的に建物もきれいで通路も広く窮屈感もありませんでした。
- ・ 乗船のときの対応がよかった。わからないことだらけで心配だったけれど、スムーズに対応して頂き、ほっとした。神戸港に行くことがはじめてだったので、なんとなく簡素な感じがした。神戸と聞くともっとお洒落なイメージを勝手にしていた。
- ・ 私は神戸港から乗ったのですが、神戸港は結構なものない感じだったかなーと思います。
- ・ ターミナルには少ししかいなかったのですが、あまり評価できないが、長時間待つには、少し退屈に感じた。
- ・ 私は神戸に住み始めて3年目になりますが、神戸港に行ったのは始めてでした。乗船時は番号札が渡されてスムーズにできるようになっていて、そこがよかったです。
- ・ 船の乗車はあまりしないので飛行機とは違うなと思いました。飛行機よりは審査が軽いイメージがしました。スムーズに審査してもらえてよかったです。
- ・ 神戸港から乗船しましたが、神戸港をきちんと利用したことがなかったので、思っているより大きくて綺麗だなという印象を持ちました。

(2) 高知港の感想（高台散策の感想、乗船下船時対応の感想）

- ・ 高知港それ自体の感想を述べる欄ではないが、高台の企業誘致策（なお誘致先は未定）はどうなんだろうかと思ってしまった。下船時にお迎えもして頂いたので、離着岸の対応は素晴らしかったの一言に尽きるかと。
- ・ 武将の衣装を着た人ともう少し写真を撮りたかった。離岸時によさこいを踊ってくれたことに感激した。思わず見入ってしまった。
- ・ 神戸港のような立派なターミナル施設はなかったが、下船したときにキャラクターや高知の人が迎えてくれて温かみを感じた。高知港は、思っていたよりコンテナもあまり無く、企業誘致予定地も特に何もなくさびしい感じだった。
- ・ 高台からはクルーズ船を総観することができ、他に高い建物もないのでとても見晴らしが良かったです。神戸港とは違ってターミナル施設がありませんでしたが、そ



のぶん地元の方々との距離が近いような感じで、いろいろと物も売っていたり伝統芸能を披露して頂いたりと楽しませていただきました。

- あそこまで何も無い港は初めて見た。やろうとしている政策を見る限り、観光地としての港づくりをしようとしている姿勢が見えなかった。近くに市街地がない分、もっと工夫していかなければならないと思う。
- 高台では現状まだ企業の誘致がないと聞いて残念だと思う。せっかくつくったのだから有効に活用してほしい。乗船時に地元のキャラクターや鉄砲隊と写真を撮れたのがよかった。地元が一体となって盛り上げようとしていることが伝わった。
- 高台は、思ったより何もなく、これから開発していくんであろうということをひしひしと感じました。高知港を離れる際に、よさこいでお見送りしてくれたのは高評価です。地方の特色を活かして乗船下船時にも楽しいものにしてほしいです。乗船下船時に言えることですが、バスを用意してくれているのはありがたいのですが、補助席まで客を詰めるのはできればやめてほしいなと思いました。
- 高知港プレゼンテーションの準備で高知港のことは事前に調べていたが、予想していた通り新港の利用がうまくなされていないという印象だった。
- 高知県の職員の方から、高知港の特徴や印象を伺うことができ有意義な時間を過ごすことが出来た。特に、高知港の防災に600億円を費やしているというお話は印象に残った。トラフ地震で大きな被害が予想される高知県の政策について学ぶことが出来た。
- 横浜港や神戸港と比べると、高知港は閑散としていて、工場や港の施設の一部がポツポツとある印象であった。高台に関しては、印象として何のためにあるのか予測がつかなかったというのが正直なところである。担当者のかたから、企業誘致用の土地として開放されており津波の高さを12メートルと想定して作られていることを聞いて、防災の機能を考慮したつくりになっていることがわかった。
- 港から何も無い高台が見えて、おおお…となった。歓迎セレモニーは高知らしさをたくさん詰め込んだ素敵なものだと感じた。地面に書かれていたWelcome to KOCHIはとてもいいアイデアだと思おう。船から見ると写真を撮りたくなる。
- 下船した直後は良い意味でも悪い意味でも驚いた。私は田舎などのひろびろとした自然に溢れた景色が好きで、高知港はまさにその装いを呈していたが、予想と異なり周りに本当に何もなさすぎて驚きを隠しきれなかった。私は神戸港や釜山港くらいしか港を知らないもので、港の周りは発展しているものだとばかり思っ



ていたが、すべての港がその通りなのではないと痛感した。下船時の対応に対しては特に不満はない。

- 乗船下船手続きに関しては、ほとんど印象がないと言っていいほど、簡潔なものであり、とてもありがたく感じる。高台散策は、高知港を数うちある港湾のうちの一つとしてマクロ的にみるというより、高知港そのものに視点をあてて物事を考えるのに役立つ機会となった。
- まず初めに、高知港に到着したときに船内の窓からみえた、英語で書かれた高知へようこそという文字を見たときは、高知港がクルーズ船誘致の一部が垣間見えたようで、それからの高知観光に期待をもてました。また、沢山の地元の方々が迎えに来てくださっていて、国内の港を訪れるのは初めてだったので、クルーズ船誘致というのはこのようにして効果を生むのだなと思いました。
- なにもないというのが着いたときの最初の印象だった。
- 乗船時、下船時の対応はとてもよかったと思う。約1000人の乗船客がいるにもかかわらず、めだったトラブルもなさそうで素晴らしかった。必要なもの（パスポートの写しなど）のアナウンスも丁寧だった。”
- 正直、高台は周りに何にも無い場所にデカデカと平らな土地が用意されているだけという第一印象を受けた。それだけに、工場などの誘致に成功した時には、工場で働く方々向けのコンビニエンスストアや飲食店の需要が出てきて地域の発展に貢献しそうなので、是非誘致に成功して欲しいと感じた。
- 正直に言って、神戸港との落差に驚く。閑散としていて、コンテナも少なく、巨大なクルーズ船が浮かんでいるのが不恰好にも見えてしまう。今回の課題の対象が高知港で、その現状を調べてはいたが、数字で追っているときより、その苦しい現状が肌で感じられた。高台の開発を含めた、今後の発展に期待したい。
- 高知で下船した際に、地元高知の方々が出迎えてくれたのが嬉しかった。高台まで行き、改めて船が大きいことを実感した。高台の視察では現状、今後の予定など説明をしてくださり勉強になった。また、船の説明も、実際に見える場所からの説明だったので、とても分かりやすかったし、大きさやすごさをあたら馬手感ることが出来た。高知を出発するときにも、見送りをしてくれたのがうれしかった。
- 海の近くに会社を構えることでの不安要素と言ったら津波だと思います。その際に高台が波を少しでも抑えてくれたら安心できます。港に武将隊の方や坂本龍馬であろうキャラクターと一緒に写真が取れて、海外の方も日本の文化に触れることができるし、私も甲冑を着た武将隊を見る機会は少ないのでよかったです。



- ・ ターミナルがあるとよいかと思った。高台がすごいと思ったが、現状ではなんだか質素な感じだった。今後の開発について説明もしていただいたので、これからが楽しみだ。また、眺めはよく、客船が一望できることはよかった。今後の開発後も、寄港した船が一望できればいいと思う。
- ・ 高知港では入港時も出港時もよさこいや吹奏楽などで盛大に祝ってくれて、うれしかったです。お見送りとして、みなさん手をずっと振ってくれて、「いいなあ。」と思いました。
- ・ 高台散策は、非常に良かった。企業を誘致する取り組みや課題などを知れた。高知港は、近くに高速道路があり、アクセスは良いが、周りにはほとんど何もなかった。
- ・ 高知港では、お見送りでのよさこいパフォーマンスがとても良かったです。高台散策では、通常は立ち入り禁止のところに入れてもらえて、貴重な経験でした。
- ・ 地元の方が迎えてくださってうれしかったです。町まではちょっと遠いと思いました。
- ・ 高知港は、港の周りにはあまり何もないなという印象でした。また、高知港から乗船する時には出国審査などがありましたが、空港に比べると意外と簡潔で、こんなんで大丈夫か、と思った面もありました。

(3) 上海港の感想（港・ターミナルの施設評価、下船時対応の感想）

- ・ 困ることはなかったのですが、英語表記が所々なかったです。繁忙期だったのかもしれないのですが、ターミナルはやや混雑気味だったかと思います。さらにターミナルがとても広かったので、よく迷子が出なかったなあと思いました。
- ・ 町が軽く煙っていてこういうものなのか、と感じた。降りてすぐに見える川の水が茶色く濁っていて驚いた
- ・ スムーズに下船できた。ターミナルは立派だったが、駐車場のところで何度か車に轆かれるのではないかと思った。空気も思っていたほど汚くないと感じた。
- ・ 上海港のターミナルはとにかく大きく、空港と見紛うほどでした。やはり扱う船の数が圧倒的に多いからだと思いますが、流れもスムーズで特に困ったことはありませんでした。しかし、船の数が多く分人もとても多くて、迷子になりそうになったのはとても怖かったです。
- ・ 工業地帯が立ち並び、濁った水や汚らしい船などが、中国らしい趣を出していて、ある意味中国に来たという実感を港で感じられる分、いいのかもしれないが、せっかくの上海なのでもう少し整備してもいいのではないかと思う。
- ・ 長江で船が渋滞していたことに驚いた。日本とはスケールが違うなと思った。ターミナルは結構きれいだと思った。
- ・ 上海港は大きいです。単に大きい港というだけでなく、空港のような客船ターミナルを備えた港として優秀な港だと思いました。ただ、下船してから、現地でツアー

- 会社の人たちが雑多に客を待ち構えている様子が見栄えが悪いのと、自分たちのバスに向かうときに交通整理が十分にできていなかったことは悪い点だと思いました。
- 海ではなく長江にあるというところにまず驚きと感動を感じた。BGMが千と千尋の神隠しだったのがちょっと疑問に感じた。
 - 上海港の国際ターミナルにおいては、順路も分かりやすく使い勝手が良い印象を受けた。具体的には、空港のように看板を用いて案内をしていたことが挙げられる。横浜港、神戸港のターミナルと比較してもこの点で、大きく優っているように感じられる。また、港においては数多くの貨物船が停泊しているのが見受けられ、上海、中国の経済発展の一端を感じた。
 - 日本の港は海側に面していることが大半であるのに、上海港は川を上ったところに位置しており、国土の広さを実感した。船の出口から手続きまでの移動距離が少し長いような気もした。荷物検査が意外と厳しくなかった。ターミナルを出る瞬間、観光ツアーの担当者の案内で観光客らがごった返しになっていたのも、あのあたりの秩序をもう少しきちんとした方がよい。ターミナル発着のバスまでの距離も遠かったのもバスとのアクセス面も改善した方がよいと思った。
 - 上海港につく直前、朝食をとりながら眺めた長江が印象的だった。まず水質が汚い。日本も普通の川は対してきれいじゃないなとか思っていたが、長江の汚さは異常だった。しかも、その川を埋め尽くすほどのコンテナ船や運輸船（本当に何運んでいるんだろう、沈みそう、という船ばかり）が多くて、クルーズ船にぶつからないか心配だった。ターミナルはしっかり受け入れの整備がされていて綺麗だったし、入国も安全上心配になるほどスムーズだった。
 - わたしは中国の古代史が好きなもので、生まれて初めてかの有名な長江を目にすることができ非常に感動した。上海港は高知港のあとであったので、より一層活気付いているように見えた。おびただしいほどのキリンさんやコンテナがあり、著しい中国の経済発展の勢いの一端を感じ取れた。下船に際しては、多くの人が下船するにも関わらず、時間や手間を取ることなく円滑に行うことができたので、良かったと思う。
 - 上海では港というよりも、川がとてもスケールが大きく、濁っていて印象的であった。また、なんとなくの印象に過ぎないのだが、まだまだ最高地点には到達しておらず、これからより発達し完成されたものなる港湾といったイメージをもった。下船時には、中国の人の多さを痛感する機会となった。



- まず、上海港の規模の大きさに驚きました。まるで自分がどこかの空港にいるような気分になるほどの大きさで、さすが人口の多い中国の玄関口だなと感心しました。ただ、それでもかなり多くの人数が一気に下船するので、その手続きや、また出迎えに来てくれる人たちと会うポイントなどでは人の込み具合がすごかったのもう少し整備されていたらなと感じました。
- 1000人以上の乗船客がいたのに、下船がすごくスムーズに行っていた印象。歩いてれば下船できていた。ターミナルの出口にすごい数の中国人がいたのに驚いた。
- ターミナルの規模は今回見る事が出来た横浜・神戸・高知・上海の中で1番大きいように感じた。流石上海港、それほど乗降客が多いのだろう。荷物検査を通過して外に出る直前に、あまりにも多いツアーガイド(?)の方々の花道が出来上がっていたのが印象的だった。
- 中国は入国審査が厳しいイメージだったが、意外とスムーズに進み驚いた。海外の入国が楽なのもクルーズの魅力だろう。船員の下船対応はフランクだが丁寧で、名残惜しさも感じさせる。港の対応は日本ほど丁寧ではないが、そこは海外なので割り切れる。
- 初めての海外であったので、日本としか比べることが出来ないが、港の水がとても濁っていたのが衝撃だった。空気も、綺麗とは言えなかった。マスクが欠かせなかった。全体的な評価として、良いとは言い切れない。
- 荷物検査の時に、スーツケースは入れたけど手荷物を入れ忘れてしまいました。私の不注意だけど、そこを見逃してしまったりとずさんさが気になりました。検査場から出口までが狭く、出口の前に人が多すぎて外に出るまではぐれてしまいそうでした。
- 大きい！そして、活気がある。バスの台数やタクシーの台数がすごいと感じた。港を離れていくバスの中からもコンテナがすごい量あり、驚きしかなかった。高知の数とは、圧倒的違いの量で上海という都市の力をまじまじと感じた。
- 上海ではずっと川を下っていったのですが、川の色に少しびっくりしました。港では、ツアー客を待っている現地中国人が大声でツアー客の名前を叫んでいたりして、ちょっと怖いなーという印象を受けました。笑
- 上海港の感想としては、スケールに驚いた。世界的にも発展している港であり、日本とは違った魅力があると感じた。しかし、川も海も空気も汚なかったのが、それ以上に印象的だった。



- 上海に着いた日の朝、海がすごく汚くて驚きました。下船してからは、結構適当な感じで、これが中国か、という感じでした。ターミナルや港自体はすごくきれいでした。
- 海が汚いというのがとても印象的でした。中国人らしき方のインパクトの強さに驚きました。
- 上海の港に着いた時は、船の多さと海水の汚さに驚きました。下船時には笑顔で送り出していただいたので、嬉しかったです。

第4部 <寄港地の魅力>

(1) 寄港地としての高知の魅力について

- ・ 高知県自体にはたくさんの魅力があると思います。カツオもおいしかったし、日曜市もとても面白かった。しかし、港からのアクセスを鑑みると寄港地としてのランクはイマイチ？なのかもしれないとも思いました。
- ・ 高知全体で観光客の誘致に取り組む姿勢が良かった。特産品やお土産のアピールが目立って分かりやすかった。
- ・ ゆずジュースやカツオたたきなど食べ物がとてもおいしかった。よさこい博物館がとても面白そうだったが、時間が足りなくて見られなかったのが残念だった。
- ・ 高知県は、歴史的に重要な役割を果たした県であるため、多くの名所や観光場所があり、日本人にとってはとても魅力的だと思います。しかし、外国人となると、やはり京都ほどの立地の良さや観光名所の数が負けており、より外国のクルーズ船にアピールしていくには他の手段を考える必要があるのではないかと感じました。
- ・ 自然が多く、歴史的な観光地も多い。愛媛には負けるかもしれないが、それなりの観光地としての地位は四国の中ではあると思う。
- ・ 食べ物は美味しかった。日曜市・ひろめ市場・昼食のおらんくやでのカツオのたたきなど。よさこい情報交流館では高知の人のよさこいにかける熱い思いが伝わってきたし、ぜひ一度生で見てみたいと思った。
- ・ 高知の魅力は海と山の両方に囲まれた自然豊かな土地である点が魅力だと思いますが、短い寄港時間の間で自然を全て味わうのは難しいと考えます。寄港時間で行くことができるのは高知の市街地くらいだと思うので、その中で高知の魅力を味わうなら、ひろめ市場などの市場や、かつおのたたきに代表される高知ならではの「食」が、寄港地としての高知の1番の魅力だと思います。料理もおいしく、商店街もきれいだったのでまた来たいと思った。
- ・ 高知の魅力は、魅力的な観光地が狭い範囲に集中している点にあると感じる。クルーズ観光であると、港湾からのバス停からの徒歩圏内が主な場所となる。そのバス停の周りに高知城や、くるめ市場などの魅力的な観光地が存在しており効率的に観光することが出来た。また、高知の豊富な魚介類も大きな魅力の1つであると考える。
- ・ 発着時どちらも高知のよさこい踊りなどのパフォーマンスで歓迎してくれた。特に、



船が出航する時はおそらく高知県民（一般人）がクルーズの様子を見にきていて、クルーズが誘致されるだけでこんなに盛り上がるのだと思った。高知はおいしい食べ物がたくさんあり、高知港からバスで移動すればひろめ市場や日曜市、高知城など観光名所がたくさんある。高知ならではの文化を観光面でもっとアピールできると思う。また機会があれば行きたいと思わせてくれる場所だった。

- ・ 観光ではひろめ市場や日曜市などの活気あふれる市内を見ることができたので楽しかった。フルーツトマトがスイーツのように甘かった。カツオのたたきも本場はやはり味が違った。また食べたい。とにかくおいしい高知県を堪能できた。
- ・ 高知港の魅力は良き日本の田舎を感じられることにあると思われる。一方で田舎といいつつも日曜市などは非常に活気があり、高地という街が非常に元気で街が美しいのは大きな魅力だと感じられた。また口にするものが全て美味しかったことは強く印象に残っていて高知の魅力の一つだと思う。個人的にお土産で買ったミレービスケットが美味しすぎたので、全国展開してほしいと望む。
- ・ 特産品や名物など、高知についてほとんど知識がないままに今回のクルーズに参加したが、個人的には日曜市にとっても”その地域らしさ”を感じた。次回はもっと高知城などにも足を運んでみたいと思える旅だった。
- ・ 高知は、今回が初めてだったのですが、訪れる前まではカツオ以外にあまりイメージが無く、失礼な話かもしれませんが、上海に寄る過程でのちょっとしたおまけのように感じていました。しかし、高知を観光すると、私の知らなかった沢山の高知の魅力を知ることができ、とても楽しかったですし、なんといっても何を食べても美味しく、非常に満足のいく高知でした。ですので、高知港は寄港地としてとても良い場所だと思います。
- ・ 高知には行ったことがなく、四万十川ぐらいしかイメージがなかったが、意外と観光地があったように感じた。運よく日曜市もやっていたし、高知城もにぎわっていたので魅力はあると思う。寄港地として考えると、港から観光地までの距離が長いことが欠点だと思われる。
- ・ 今回は運良く日曜市と被っていたため、想像以上に長く多種多様な個人商店が出店している日曜市を楽しむ事が出来た。日曜市を抜けた先には高知城があり、少し脇に逸れればひろめ市場もありと、観光地が多すぎてどこに行くか迷うことも無く、少なすぎて時間を持て余す事も無く、6時間程度の滞在にちょうど良い寄港地であると感じた。



- ・ 観光資源はさほど豊富でないと感じた。私は歴史が好きなので楽しめたが、他の人は果たしてどうだろうか。少し古いがジブリ映画に登場した街並みを実際に歩けたのも良かった。ドライブで寄るには労力が必要な場所だからこそ、クルーズで奇行する甲斐はあるだろう。
- ・ ひろめ市場は規模が大きく大勢の人でにぎわっていた。高知の特産品をみたり、地元の人が作った農作物を見ることが出来き、地元の方とお話する機会があつて、貴重な時間であつた。お昼は、かつおのたたきを頂いた。こんな美味しいかつおのたたきを食べたのは初めてであつた。ブンタンというフルーツがとても美味しかった。高知城も素敵なところだつた。
- ・ ちょうど日曜日だったので日曜市が開催されていて、活気があつたが日曜以外だと魅力が減ってしまうのが悲しい。港からバスで移動して、高知城や名産の鰹のたたきを食べられる市場が歩いて行ける範囲にあつたり、日曜市も予想以上に規模がでかく売られている野菜の大きさと安さに驚きました。
- ・ 日曜日に寄港できたということがポイント高い！！日曜市場に立ち寄れて高知の特産品を見れたり、高知大学の方で店番をしていた方と喋ることができて、私たち学生にとってすごく新鮮な経験になった。また、特産品のカツオがおいしかった。
- ・ たまたま行ったのが日曜日だったので、日曜市に行くことができました。そこではアイスクリームやいも天など、おいしいものをたくさん食べることができました。ひろめ市場では高知名物である「かつおのたたき」を食べることができました。
- ・ 寄港地として高知は良いと思つた。私は日曜日に行けたので、すごくにぎわっていたが、その他の曜日はどうであるのか気になった。また、ターミナルも建設するべきなのではないかと感じた。
- ・ 高知は観光名所が徒歩圏内に集まつていて（高知城、はりまや橋、ひろめ市場、日曜市）寄港したときの限られた時間の中に観光するには、とてもいい場所だえると思ひました。私は徳島県出身ですが、徳島県ではあの短い時間では、どこにも行けないです。
- ・ 高知の観光地までは少し遠かつたのですが、観光地には高知ならではの魅力がたくさんありよかつたと思ひました。特にお城がよかつたと思ひました。
- ・ 高知は、今回行くまで、何が有名なのかも知らなかつたのですが、カツオを少し食べて感動したのが印象深いです。もっともっとカツオが有名になれば、多くの人が高知を訪れるのではないかと思うくらい美味かつたし、高知城なども楽しむことができました。



第5部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー>

(1) 学生提言：事前準備から、発表までの感想、大学間交流としての意義

- ・ 大学交流としての意義を十分生かせなかったというのが実感。それは多分事前準備の過程に起因していて、やはり会って話をする機会が1日（2時間程度）だと、参加者の中でマジョリティを占める阪大生の内輪感がむしろ強まってしまったかと
- ・ 今回の発表は先輩にまかせっきりだった。
- ・ 他大の人と協力して発表するというのが貴重な体験だと感じた。
- ・ 事前準備は他校がいたこともありラインでのやり取りがほとんどだった。神戸港での準備時間では足りなかったため、船内で原稿などの準備をした。普段交流ができない理系や院生との交流は有意義だったと思う。
- ・ 事前準備の時間が短く、なかなかテーマも難しかったため、詳しく今やっている施策をみたり、データをみたりすることができませんでした。しかし、当日まで会えなくても、他大の方とお互いに連絡を取り合い、同じテーマについて考えるというのは初めての経験で、新しい視点も交流も得ることができました。
- ・ 短い間にどれだけのことを効率よくするか、またあったこともなく、遠いところにいる仲間とどう連絡を取り合うかというところを工夫することに意味があると思う。
- ・ 事前準備が不十分なまま臨んでしまい、発表スライドが拙いものとなってしまった。高知港について十分に言及できなかった。計画的に、また協力して準備を進めていくことが大事だと思った。
- ・ 他大学の人と交流するということは、友達が増えたり、普段とは違う意見を聞くことできて、大事だと思いますが、他大学の人と交流するという目標を達成するならば、もっと直に会って、話す機会が必要だと思います。準備をするときに、会ったことのない人に仕事を頼むのは、やりづらかったです。
- ・ 他の大学の方々と一緒になって話し合うことによって様々な考え方を聞くことができてとてもいい経験になった。個人的なことについていえば、話し合いで政策提言を考える時にあまり自分の意見をつくることができなかったのも、もっといろいろな視点でものをみて考えていくようにならなければならないと思った。
- ・ “学生提言においては、意見の集約に時間を要するなど反省点が多かった。政策提言など直前に決めてしまったものもあったので、論理を固めえることに、もう少し時



間を掛けるべきであった。このワークにおいて、自分の弱点を再発見できたので、今後に生かしていきたい。また、大学間交流という意義で見るとであれば、事前に顔合わせを行うことはとても重要であるのではないかと思う。”

- ・ 今回ほとんど自分で準備をした。アイデアを他の班員に募ったものの、あまり反応がなく、試行錯誤を重ねた。そして結果的に実現可能性も低く、課題とは逸れた提案になってしまったと思う。どの班も条件は同じだが、もう少し班員と議論したかったし時間もほしかった。けれど大学を超えてこのような取り組みを行うことは普段のゼミ活動とはまた違う視点も生まれるので意義があると感じている。
- ・ 事前準備に関しては、昨年度と違い今年は事前に合うタイミングがなかったのでどの程度仕事を分担しようか悩んだ。来年も行うのならば、ぜひ事前顔合わせの機会を設けるべきだと思う。しかし一緒に組んでくれた県立大の林さんはとてもいい子で、仕事もスムーズに行うことができた。
- ・ 5班 クルーズを通じた高知港の活性について わたしたちは自分たち自身がクルーズに乗るということと、物流を扱うには専門的な知識が必要であるということから、学生目線で提言が行いやすいクルーズに注目した。阪大生で乗船が二度目ということから、ある程度の準備を阪大生で行いながら、東京工業大学の方に論文などや現状分析について調べてもらうなど、分業を進めながら発表までこぎつけた。東京工業大学の方が男の方だったのでその後の深い交流はなかったのは残念だった。
- ・ 自分がどれだけ班に貢献したかという面で見ると、まだまだ反省すべき点ばかりであるが、単純に他大の方と一つのことに取り組みながらお互いに意見を交わすという活動が刺激的であったし、またあまりない貴重な機会で楽しかった。
- ・ 私が所属していた班は、大阪大学の学生3人と、東京工業大学の大学院生が1人という構成でした。ですので、院生の方に私達が分からない財政の観点などについてアドバイスをもらいながら、こちらが中心となり議論を進めていきましたので、比較的スムーズにいきましたし、4人とも意見をそれぞれ生かしながら、議論を進めることができたのでは感じています。
- ・ 政策提言というのは普段の勉強、研究では取り扱わないので、どのように進めたらよいかわからず、秋富さんに丸投げしてしまったと反省。横浜で乗船した後はある程度意見の交換ができてよかった。阪大の学生がどのような流れで提言



を行っているか学べて有意義だった。

- 事前準備では、やはり顔を合わせての準備が地理的に出来ないという点が大変だった。班の皆さんのおかげでなんとか発表を終える事が出来た時は、とても安心した。同じ班になったメンバーの1人と、クルーズを通してとても仲良くなる事が出来たため、大学間交流としての意義も大いに有ると感じている。
- 東京-大阪間で1つのプレゼンをつくるのは確かに大変だが、多少の苦勞を共有することがアイスブレイクになり、その後の交流がスムーズになったと思う。初対面で大学も別の人間が集まる際は、何かしらの問題意識を持ち全員が同じ方向を向く時間が設けることで、学生は有意義な時間が得られるだろう。
- 事前準備では、LINEでやり取りしたが短い時間のなかで、あったことのない方達とのやりとりすることが難しかった。しかし、社会に出ればそのようなことは多くあると思うので、そのような中でどのように効率的にできるかを考える機会になった。神戸で少し時間があつたが、プレゼンを完成させるにあたって大阪大学の松本君が仕切ってくれて、みんなをリードしてくれた。
- 高知港について調べて改善点や思ったことをグループ内でいうことになったけど、全然思いつかず他の人に任せてしまったりと積極性が足りなかったと思いました。常に社会への問題意識を持つことの大切さを感じました。発表の際に誰がどこを説明するかなど段取りがあまりできておらず、直前でドタバタしてしまい、準備が十分ではなかったと反省しています。
- 事前準備、発表、を通じて、初めて話す方と親交を深めるということは積極性が大事だと身に染みて感じた。そして、適切な役割をどのようにすればいいのかという思いに至った。初対面でプレゼンをする機会はそうそうないとおもうので貴重な経験ができ、今後の役に立つと思う。
- 今回、大阪大学の方がリーダーとなって率先して準備をしてくれて、凄いなーと思うことばかりでした。プレゼンの内容もそうだし、発表の仕方も見習うところがたくさんありました。刺激をもらうことができ、とても貴重な体験になったと思っています。
- 学生提言は、非常にいい経験で、勉強にもなり、他大学の方と話す機会にもなり良かったが、直接会えない中での準備にはとても大変さを感じた。大学ごとの発表だと、事前準備がしやすいのではないかと感じた。



- ・ 発表での事前準備はほぼ時間がなく、会って次の日にプレゼンということで、とても難しかったです。大阪大学の方にはすごく助けられ、またプレゼンの仕方もすごく慣れていて、とても勉強になりました。私は数回しかあのような形でプレゼンをしたことがないので、今後に生かしたいです。
- ・ みんな優しくいい人だったと思いました。お別れの際は少し寂しい気持ちになりました。
- ・ 事前準備の段階では、プレゼン大会のイメージがつきにくく、どうしたらいいんだろうという思いが強かったですが、他大学の方が引っ張ってくださってうまくまとまったので、とても良い勉強になりました。

(2) 学生提言(各班の発表を聞いての感想と提言)

- ・ 港湾活用について調べることがなかったので、大変良い機会でした。班内では積極的にもっと発言しても良かったかと反省もしています。
- ・ 短い期間でかなり練られた発表が多いと感じた。しかし、この短い期間でクオリティを求められても困る気はした
- ・ コンテナ側と観光側のいずれか一面だけでなく、両面から提言を行っている班もあった。最優秀の班は限られた時間のなかで、分析まで行われていた。また、現行法やTPPなど実社会に即した提言であった。
- ・ 期間が短かったのにどこの班もよく調べて面白い提言をしていて驚きました。自分たちのプレゼンを作っているときは、どこの班も同じ提言になるのではないかという話を同じ班員の方としていましたが、実際には全然そんなことはなく、ユニークな提言が多数あり、同じテーマでもここまで広げることができるんだ、と勉強になりました。
- ・ 短い間でしたが、それぞれ工夫された政策提言に感心した。いくつかの班が同じようなことを提言していたので、面白みに欠けるところは、少しあった。質疑応答の時間に、自分が気づけなかったような質問が出ていたことに感心した。
- ・ みんなストーリーがしっかりしていると思った。試算までしている班はすごいと思った。
- ・ 発表は面白いものばかりでした。発表で1位になった班が、参考文献の計算式に基づいて、高知港を使う経済的メリットを試算していたのは、大いに参考にしなければならぬと思いました。高知新港の背後に広がる高台の企業用地は、遊んでい



る状態なので、減税してでも企業を誘致して、高知新港の設備を使えるようにすべきだと思います。

- どの班も同じような提言のになるという事前の予想を裏切り、各班個性的な提言ぞろいだったので聞いていて楽しかった。
- 提言はコンテナ・クルーズ面を通し、様々な視点からなされていた。中でも、神戸港や高知新港に機能を集中するべきとした意見が何班か存在し、印象に残った。集中と選択という議論が、活発になっているが、高知港の方も含めて議論が行われていれば更に面白かったのではないかと思う。
- 1位になった班は、TPPの視点を取り入れ、現行制度や法律の議論や、高知県四国地方の状況をきちんと踏まえて新たな取り入れていたことが評価されていた。政策提言をする際は、実現可能性などを考慮するだけでなく、議論の過程で現行制度との比較を行い、その上で生じる問題点を提起した上で提言を行うことが欠かせないと痛感させられた瞬間だった。また全然考えつかなかった新たなアイデアだったので、同時に自分の勉強不足も感じた。今後論文執筆を行う上で、様々な視点を参考にさせてもらいたい。
- 高知港の限られたポテンシャルの中で、どのような提言が出てくるのか気になったが、結果的に各班それぞれ異なる提言を行っていて面白かった。あまり内容が詰められなかったので結果はどうかなーと思ったが、無事賞をいただけてうれしかった。自分の地元の港についても考える機会となった。
- 他の班の完成度に対してただただ圧倒されるばかりだった。この短期間での完成度とは思えないほど、体裁もきちんとしていてまたそれぞれの班の着眼点が多様で面白く感動した。特に最後の班の発表の完成度に非常に感銘を受けて良い刺激になった。限られた時間的制約の中で資産や法律まで調べており、努力の跡が色濃く見て取れる素晴らしい内容だった。
- 各班非常に個性が出ていて、また、自分には考え付かなかった多様な内容で、勉強になったとともに、発表を聞くことを楽しむこともできた。よく調べられているところは、発表を聞いていればわかるもので、今後見習っていきたいと思える部分もあった。提言内容も各班工夫が施されていて、一見突飛のように見えるものも、大事にしていきたいと思った。
- まず、各班の発表を聞いてですが、本当に多種多様で、自分たちが思いもよらなかったような提言をしている班もありましたし、またデータを私達とは真逆に解釈して提言を行っているところもあり、やはり政策提案というのは考え次第ではなんでもできるのかなと思いました。また、提言につきましては、オリジナリティを出すのが非常に難しかったです。
- どの班も短い時間で素晴らしい提言をしていたと思う。クルーズに乗っているということもあってクルーズに目を向けた提言が多かったが、どの班も個性があっ

白かった。個人的には旧港をなくしてその機能を新港に移転するという提言をしていた班の発表が面白かった。

- どの班も短い準備期間の中でしっかり仕上げてきていた。特に大阪大学の学生の多くは、発表練習までみっちりこなして来たのか、発表もとても滑らかで素晴らしかった。ただ、現実的に実行出来る提言は、あまり多く無さそうであった。
- 学部2・3年生が短期間でプレゼンの1つの形にしてあり、赤井ゼミ生のやる気の高さが伝わった。公共政策は私の専門外だが、他大学の学生とディスカッションする時間は刺激になるし、楽しめた。内容自体はロジックが甘い部分はあるが、準備期間も短かったことを考えると十分だろう。

- どの班も結論がしっかりしていて、プレゼンもまとまっていてわかりやすかった。同じテーマでも、考える方向性によって、班ごとでこんなにも内容が違うことが興味深かった。自分にはない考えや、価値観を知ることができた。短い時間の中で効率よく進められているのが分かった。プレゼンを動画で撮影しておきたかった。（後で気が付きました）



- 私は外国人の誘致という観光の案しか思い浮かばなかったけど、他のグループでは、貨物、貿易などにおける港湾の活用について詳しく提言されていて、考えが及ばず発表に圧倒されていました。旧港の廃止という、とても大胆な案には興味がわきました。また、定量的に示されていることは勉強になりました。
- 各班の発表を聞き、多くの情報の中から必要な情報を絞り込み、それに対し追求することがいかに大切かということを学んだ。情報の取得、情報の選択が適切であり、そこに自分たちの知りうる知識を盛り込むことができればよいプレゼンになる。これらのことを感じる経験ができ、いい経験ができた。
- 各班、短い時間の中で高知港をどう利活用すべきかについてよくまとめていたと思います。1位を取っていた班は、やはり聞いていておもしろかったです。
- 各班の発表を聞いて、正直驚いた。自分の班もそれなりに準備したつもりであったが、他の班はそれ以上に準備ができているなと感じた。学生ならではの意見もあり、興味深かった。
- 各班、ユニークなアイデアがたくさんあって、おもしろかったです。さまざまな法律や制度を活用していて、すごいなと思いました。
- みんなのプレゼン力の高さに驚きました。私も将来の為にももっとプレゼンが上手にできるようになりたいと思いました。みなさんを見ていてとても勉強になりました。

た。

- ・ いろんな班の発表を聞いて感じたのは、大阪大学の方々のプレゼン能力の高さです。普段あまり人前で発表する機会もなかったのに、緊張して、話すことで精一杯でしたが、他大学の方の発表能力には刺激を受けました。もっと頑張ろうと思えました。

(3) クルーズ活性化会議討論の感想

- ・ 各自治体の方から実際の生の声を聴けたのが大変よかった。観光産業の活性化策としてクルーズ誘致がどれほど妥当な策なのか、正直どれくらい本気で考えてるのか予算降りてるのか、なども聞いてみたかった。
- ・ 会議自体よりも、その後の食事で市の職員の方と意見交換できたことの方が踏み込んだ話を聞くことができてためになったと感じた。
- ・ それぞれの自治体が抱える課題や現在進行形で行われている政策について現場に携わる人から何う貴重な体験を通し、勉強になった。
- ・ 各自治体がどのような施策をしているのかよくわかりました。福岡のような大きな港から、境港のような商用港まで、幅広い種類の港の取り組みを知ることができたうえ、比較することもできたのでとても興味深かったです。
- ・ 専門的な内容も多く、また今まであまり港を意識したことがなかったため、少し遠いイメージではあったが、その分改めて。港というものに意識が向いた。それぞれ港が様々な政策をしていることを知りとても興味深かった。
- ・ クルーズ誘致には地理的要因が大きなウェイトを占めるのだなと痛感した。特に中国からのクルーズ客を取り込みにくい中日本あたりの後発組の港はなかなか厳しいのではないかと感じた。
- ・ 自分は元々港湾に興味があったので、各地方自治体の港湾関係者のお話を聞けたことは大変有意義でした。博多といった大きくクルーズ船誘致に成功している港から、富山などといった地方のクルーズ船誘致をこれから頑張っていこうとしている港まで、日本全国の港湾担当自治体職員の方が集まっていたので、日本の港湾事情を知ることが出来ました。
- ・ 今まであまり知らなかった港湾やクルージングの現状と現場の方々視点での意見を聞くことができてよかったと思う。大きい港湾では大きい港湾ならではの問題があり、小さい港湾では小さい港湾ならではの問題があることがわかり、一筋縄ではない案件であるということを感じた。



- 中国マーケットの成長に合わせて地理的要因が重要度を増しているという印象を受けた。九州などの地域は、チャイナリスクの回避を、その他の地域では地理的要因を上回る規模のインセンティブが重要であろう。また、中国では、3~4日程度のクルーズ旅行が流行していると伺ったが、復路を航空機にしたパッケージツアーであると関西などへのクルーズが可能になると考えた。個人的には、九州だけでなく関西にも客船に訪れて欲しいので、新たな売り出し方などで集客を図ってほしい。
- 全国各地の自治体の港湾従事者による説明を聞いていたが、港湾施設として先進的なところと後発的なところがあることを知り、その上でどのような差があるのかをハード面ソフト面で聞くことができたこと、各地の取り組みにおいて工夫している点や今後の課題も知ることができたことは大変勉強になった。インフラを整備するには土地の成り立ちや財源との兼ね合いで調整が難航するのだろう。こういう課題を乗り越えるために実際に各地方自治体との連携で様々な議論がなされているようだ。また今後クルーズ業界と地方自治体との連携にも注目したい。
- 前回の時も感じたが、実際に各港がどのようなポテンシャルと悩みを抱えているのかがわかる非常に有意義な時間であると思う。ことにクルーズに関してはかなり地の利が幅を利かせるが、港の努力次第ではクルーズによる活性も可能なのだなと感じた。
- 当たり前のことですがクルーズ振興にあたっては第一に地理的条件が重要であると感じた。特にクルーズでの顧客が一番多い中国からの立地が大切で、それぞれの地域が各々のメリットを生かしながら、日本の地域ごとに互いに協力しつつ発展していけたらいいなと思った。
- 実状の違う各自治体が、クルーズ振興という一つのテーマの中で、各々が今抱えている課題に向けて取り組みを行っているということを知れて、理想とする形は同じでも、それぞれがやるべきことには違いがあるのだということを知ることができた。各地域にはそこなりの事情や有効な方法があって、全国で括って考えられることばかりではないと学びなおすことができた。
- 以前まで、クルーズ船を誘致している湾港についてはあまり知識を持っておらず、どの湾港もそれほど現状が変わることはないのかなと思っておりましたが、今回の活性化会議討論を行い、各湾港それぞれにおいて、特徴も、抱えている問題も全く異なることに驚きました。地形上クルーズ船が全然来なくて困っているところ、それに対して、クルーズ船が頻繁に訪れることから街中で問題が起こっている自治体。



以前よりも興味がわきました。

- どの自治体もクルーズの誘致に積極的であることに少し驚き、クルーズ船の誘致が自治体にもたらす経済効果がすごいのだろうと思った。個人的に印象に残ったのは福岡のことで、ここ数年でクルーズの数が急激に増えていることで、自分が住んでいたときはクルーズが来ていたことすら知らなかった。
- 政府主導でクルーズの活性化を目指している状況下という事もあって、日本中あちこちの港でクルーズ誘致に向けて頑張っている事が分かった。ただ、明らかに地理的な面やその他様々な面で不利な港も誘致に取り組んでいるようなので、そのような港は他の港に無いメリットを作って船を呼び込むのが大変そうだと感じた。
- 私たちのグループは高知港にクルーズ船を誘致することを提言したが、それが実際の方針から大きく外れていないことを確認できた。各自治体の方はハード面とソフト面のアプローチを紹介していたが、そういった分類をして分析をすれば良かった。
- いろんな県の自治体の方など様々な方の話を聞いて、各都道府県で行っている活動には、どの方も思いがあるが完全にやりたいと思っていること全てが出来ていないので、完璧ではないという現状を知った。なかなか厳しい現状であることを学んだ。
- クルーズの誘致はこれからだという自治体が今回参加していただいた方の中では、多かったです。クルーズのために設備や港を整備しなければならないことがわかりました。多くの場所でこれからクルーズ誘致を始めると聞き、中国で人気が出ているクルーズが日本でも活発になってほしいと思いました。
- クルーズ誘致をするために、さまざまな活動をなさっていることを知った。また、クルーズ誘致に多くの予算が必要であることや、これまでに多額の費用を使って港の整備をし、クルーズ活性化につなげてきたことを知れた。今後とも港の利便性がさらに向上すると良いと思う。
- 自治体の方々の、クルーズ誘致の現状や課題を聞いたのは、非常にためになった。自分もこのような仕事をしたいと感じた。
- 各地方自治体の方の生の声を聞けるという貴重なお時間だったのですが、2階で船が揺れており前日のアカデミーから少し船酔いをしていて、しんどかったです。各自治体の方々が、地方によって様々な取り組みをしているのを知れてよかったです。
- 学生にも手の届く料金になってほしいと思いました。また、学生向きのイベントなども船内で増やしてほしいと思いました。
- クルーズの活性化というのは、今回のアカデミーに参加するまで、各地方自治体でそんなに考えられていることだとは知らなかったもので、地方自治体の方々の取り組みを知ることができて良かったです。それぞれの港にメリットデメリットがあり、難しい問題だと感じました。

(4) スマートクルーズアカデミー内容全般について(学生提言大会、自治体との交流会、スポーツACTIVITY大会、フォーマルナイト、夜の交流会など)についての感想と今後の要望

- ・ 申し分なく満足しています。学生提言会についてはやや内輪感が強かったことを問題意識として少し感じたが、大変勉強になる機会であった
- ・ 交流会でもっと他大の方と喋っても良かったかなと思った。次回の反省にします。
- ・ 普段交流することのない他校の人と共にプレゼンテーションを行ったことで刺激を受けた。自治体の方とは現場の生の声を聞くことができとても勉強になった。船内での体験はどれも初めてのことばかりだったが、特にフォーマルナイは特に貴重な経験になった。
- ・ とにかく濃密すぎる時間を過ごすことができました。外との交流があまりとれなかったため、船中での出来事に集中することができました。ただ船で遊んだだけではなく、ゼミ内の交流、他大の方との交流、また学びも多く、非常に充実した時間でした。もう少し船に乗る前に、提言まで時間を取れたら良かったなと思います。
- ・ 毎日、本当に多くのイベントに参加することができ、非常に充実した時間を過ごせたと思う。日常から離れ、久々にリフレッシュできたのでよかった。今後としては、学生提言、自治体との交流の面でもう少し充実させていければいいと思う。
- ・ 食事の際などに自治体や他大の先生方のお話を聞いたのがよかった。自治体の業務について知識が深まった。
- ・ クルーズ船に集って、クルーズに関連した学生提言大会や、クルーズ船誘致・港湾担当の自治体職員の方との交流会など、スマートクルーズアカデミーでしか体験できないことを経験できたのではないかと思います。様々な活動を通しての、普段とは違うコミュニティとの交流、内部の結束を固める交流など、人との交流の大切さを感じました。アジア以外の地域にも行ってみたいです。”
- ・ 設置してあった卓球場で卓球をしたことが楽しかった。卓球が得意というわけではないがゼミの仲間たちと楽しみながら汗をながすことがとても心地よかった。
- ・ 2回目のスマートクルーズアカデミーへの参加で、クルーズの深みを更に知ることが出来た。
- ・ 今回の旅で、印象的であったのは他の乗客の方に声をかけていただく機会が多かったことだ。短い船旅の中で見ず知らずの方と和気あいあいとお話出来るのも、クル



ーズに乗っているという仲間意識が働いているからだと感じた。

- 都会の喧騒も、スマートフォンの通信も絶った数日間であるが、またそこで新しい出会いがあるのはクルーズの面白さであると感じた。
- アカデミー全体を通して、アクティビティーもちろん、インフラや自治体の活動などを知る機会もあり、結果として様々な活動を行うことができ非常に充実した数日間だった。今回アカデミーをコーディネートしてくださった先生方、自治体の方、学生のこのような活動に賛同してくださっているロイヤルカリビアン社の関係者の方々全てに感謝の思いでいっぱいである。学生時代に実際にクルーズ船に乗り、自分の目で実情を確かめることは滅多にない機会だと思うので、今後も続いて欲しいと願うばかりである。
- 交流の機会を多く設けていただけたことは本当にありがたかった。各班もう少し中を深めたかったので、学生提言以外の機会でも各班で何かアクティビティに参加するなどの機会があるとなおいいと思った。自治体の方ともっと個人的にお話ししたかったが遠慮してしまったのでもっと話せたらよかった。
- 普段は公務員の方と話す機会がないので、自治体の方との交流会や食事の時にお話させていただいたのは有意義な経験であった。フォーマルナイトは日常ではしないような装いで楽しめた。個人的にお酒と夜更かしが苦手なので夜以外の交流会も欲しかった。
- 昨年よりいささか成長したのか、情報を受け取るばかりではなく自分で考えることが多少なりともできたことが成果であった。自治体の人と直接意見を交わせる場もあって、より見聞が広められたし、考える機会にもなった。
- 今回の学生提言大会は、昨年と比較して準備にかけられる時間が少なく、またメンバー全員で話し合えた時間が実質神戸での話し合いのみと、少し難しいスケジュールでしたが、自治体の方々や先生方に沢山アドバイスをいただき、なんとか提言することができました。自治体の方々、私達学生の些細な質問にも丁寧に答えてくださり、お食事を一緒にする際もとても楽しかったです。
- 締めるところは締めて、楽しむところは楽しむというとてもメリハリの効いたすばらしいものだったと思う。他大学の学生や先生とただ楽しむだけではなく、真面目な一面も見ることで良い刺激になった。
- ただクルーズ船に乗ってクルーズ船を楽しむだけではなく、寄港地では高台視察で港の発展に向けてどのような取り組みが為されているかを目で見て学べて、提言大



会では実際に提言を考える事でみなとの発展に何が必要なのかを考える事が出来るなど、締まる所は締まっていたのが良かった。

- ・ 「よく学びよく遊べ」を体現していたと思う。他大学のやる気のある学生と1つの問題について考えることは刺激になり、今後の研究室生活にもプラスの影響がでそう。適度なフォーマルさも場が引き締まって良い交流を実現するのに一役かっている。
- ・ どれも凄く印象に残っていて、思い出として刻まれたがせつかくの他大学との交流の場でもあったので、もう少し仲良くなりたかったと思った。交流してくださいとは言われたものの、やはり大学ごとで固まってしまうことが多かったのもったいなかったなと感じた。自治体の方とは、食事のテーブルが一緒になり話すことができたことは、良かったです。
- ・ 自治体の方の港湾の現状の話聞いて質問ができればと思いついて聞いていたけど、ただ説明を聞くだけで出てこなかったです。他の大学の方は同じ人が複数回質問をしていて、勉強が足りないと思いました。
- ・ 自治体との交流会において、自治体の方の話を初めて聞く機会だったので、新鮮でよかった。このような交流会は学生にとっては珍しいと思うので今後も継続させていただきたいと感じた。
- ・ 今回学生提言大会をすることによって、刺激を受けるだけでなく、大学間交流を図るきっかけにもなれました。これをしたから、船内でも会ったら話しかけやすくなり、最終的には結構みんなと喋ることができたと思っています。
- ・ 内容は満足した。自由時間もそれなりにあり、メリハリのあるクルーズであったと思う。今後の要望としては、何か船内で連絡を取れる手段があればいいなと感じた。
- ・ スマートクルーズアカデミー全般としては、すごく有意義な時間を過ごすことができてとても良かったです。今回の参加がなければ私は人生でクルーズ船に乗ることはなかったと思います。今回の乗船がきっかけで、またクルーズ船に乗って旅行に行きたいと思いました。
- ・ 最初はひとみしりしてあまり話せませんが、一緒に活動していると、自然と会話も増えて、たくさんの大学生と交流できてほんとはよかったです。
- ・ 全体的に、過密スケジュールで体力的には大変だと感じる場面もありましたが、他大学の方々と交流を持ったり、パーティーではセレブ気分になれたり、素敵なアカデミーになりました。今後も同様に良いと思える内容でした。



第6部 <地域活性化・クルーズ振興>

(1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想(国・自治体政策のあり方など)

- ・ 各自治体の方から実際の生の声を聴けたのが大変よかった。観光産業の活性化策としてクルーズ誘致がどれほど妥当な策なのか、正直どれくらい本気で考えてるのか予算降りてるのか、なども聞いてみたかった。
- ・ 港の大きさ、地理的条件、人口などの身の丈に合ったクルーズ誘致をすることが大事であると思った。キャパもないのに誘致することは難しい。結局は地理的に有利だという状況を跳ね返しにくいのかな、と思った。
- ・ クルーズ船の寄港によって大きな経済効果があることを学んだ。また、各地域ごとにそれぞれ知型問題や課題を抱えており、国の政策だけでなく各自治体の状況にあった政策が必要であることを知った。
- ・ 大型クルーズ船が寄港したときの経済効果は、発表のときも調べた通りとても大きく、地域の活性化に多大な貢献をすると思われます。しかし、クルーズ船が寄港したいと思うだけの魅力が地方自身にももちろん必要で、またそれを受け入れる能力(ターミナルや交通など)も必要です。まずはその地方としてクルーズ船を誘致するための魅力を洗い出して、そのうえで財政とも相談しながら進めていくべきだと思います。
- ・ 先日のニュースでも、クイーン・エリザベスが大阪港に初めて寄港するといっていたこと、また、高知県の方からの資料などから、少しずつではあるが、クルーズが日本人に身近になってきている感じがする。さらに港湾の役割は大きくなっていくのではと感じた。その分、高知港のような何もない港は早急に政策をうっていきべきだと思った。
- ・ クルーズ誘致には地理的要因が大きなウェイトを占めるのだなと痛感した。特に中国からのクルーズ客を取り込みにくい中日本あたりの後発組の港はなかなか厳しいのではないかと感じた。
- ・ 各港、伸長するクルーズ市場をにらんで、クルーズ船誘致のために様々な努力を重ねているのだなと感じました。そこで一番大きく感じたことは、官民の連携が肝要だということです。外国人観光客は日本での寄港時に地元での出迎えがあれば、嬉



しいだろうし、なによりそれが観光資源になると思います。

- 乗客が下船して観光するというインセンティブを与えるような政策が重要だと感じたがその政策立案が難しいものだと感じた。寄港時間が短い港湾があるということも考えて時間内で楽しめるようなガイドマップの作成や港湾周辺での施設の充実などを今後自治体を中心となって地域に働きかけて行くことが重要なのではと感じた。
- 地域に多大な経済効果をもたらすクルーズ産業において、公共部門の働きの重要性を身に染みて感じた。また、各自治体ごとに抱えている課題が異なることを知ることができ、有意義な時間を過ごすことが出来た。
- 高知港ではクルーズすごく歓迎されていたことを考えると、地方の港にクルーズが誘致され、その地域で人々が観光すると、消費支出が多くなるのだろうと思う。クルーズ船がもたらす観光面での効果は大きく、地方自治体の関係者とクルーズ業界の連携次第で日本のクルーズ市場は変わってくるだろう。
- 今の世界のクルーズ事情は、中国での需要が大きく、アジア全体、そして中国との競争が激しくなっていると知った。一方で中国人向けのクルーズ案になると、欧米の顧客層が減っていくとも言っておられた。その調整を図ることが日本にとっての課題なのだろう。そのためにも日本はもっと課題解決のために官民一体となって解決策を見出さなければならないのだろう。
- クルーズ船の誘致は、主に旅行会社や船会社にむけてになるが、自分たちの港にしかないもの、自分たちのまちにしかないものをどのように売り込んでいけるかがカギであると思う。国内の観光客はもちろんのこと、海外の方のニーズをしっかりと踏まえたうえで対策を練るべきだと思う。
- 港湾の役割は物流がメインなので、今後はクルーズもさることながら物流の面で日本を活性化させなければならないと感じた。特に災害は日本につきものなので、その際にどのようにして港を守っていくのかを考える必要があると思う。
- 先ほど述べたことと被る部分があるが、クルーズ船誘致に関しては、特に地理的要因などで全国で一律にできない部分が多いのではないかと感じたし、その地域によって推し出したいものも違ってくると考えると、もっとも実状を把握している各自治体をもっとも効果的な施策を考えることが大切であると感じた。また、現状としてあまり日本発着のクルーズがメインでないこともあり、まず最初にやるべき



は、どの自治体もそれぞれクルーズを誘致して競合しあうことよりも、まず主要な港湾でクルーズを充実させたうえで、そこを中心とした日本発着クルーズを広めることが有効なのではないかと考えた。

- 私は、クルーズ船誘致に関してほぼ知識がなかったので、地形の問題などはあまり考慮できておらず、とりあえずどの湾港も寄港する数を増やせばいいのではないかと安易な考えをしておりましたが、なかなかそういうわけにもいかないことを知り、地形上の問題は誰もがいても難しいのではと感じました。ただ、クルーズ船誘致というのは、やはり経済効果が大きいものであることには間違いないので、現時点で寄港が多い湾港はもっと整備を進めていくべきだと考えます。
- ある本で読んだ記憶があるのだが、今後、人口が伸び続けるのは東京ぐらいで地方の都市はどんどん衰退していきらしい。徐々に元気のなくなっていく日本にとってクルーズを誘致し訪日外国人増加の一端をクルーズに担ってもらうのは大変有意義だと思う。また、そのためには港湾並びに近くの都市をより魅力的なものにしていかななくてはならない。
- 過疎化していく地方において消費を増やして経済を回すためには、観光客による消費は一時的なものであるにせよ重要だと考えられるので、その観光客を大量に呼べるクルーズ客船誘致は大事なものだと考えられる。国や自治体は、もちろん招致にも力を入れて欲しいが、地域住民に対してのケアとして、クルーズ船が来た時の対応について英語の講習会なども開いてもらえると良いと思う。
- 各自治体も港湾の利活用に苦心しているのが伝わった。特に日本海側の現状は厳しいと感じられた。各自治体もクルーズ誘致に前向きだが、誘致の取り合いをしたり外国人の購買力だけに依存したりする政策に危うさも思えた。
- 議論を聞き、寄港回数を調べたところ横浜港が117回で1位、神戸港が88回で2位、3位は名古屋港で38回だった。寄港回数を見てみるとクルーズ船の誘致に向けた活発化がデータからも分かった。寄港回数と施設整備の関係性などに興味を持った。また、ご報告いただいた方からは、熱意と意識の高さを感じた。
- 港の設備の充実は大切です。そして高知港のように観光の前にその土地の魅力が分かる催しがあると、観光の際にもっと深く知りたいと思う人も増えると思います。港湾の近くに観光をする場所がないのは、港湾にとって大きなマイナスになるとわかりました。ただ、すべての港が施設整備をしたり、観光地を作ることが大切なわけではないので、分散させることや、その役割分担をどのように決定すべきかには課題があることが分かった。
- それぞれの港で地域の特徴を有効活用しようと自治体の方たちは働きかけているのだなと感じた。そして、そのような人がポイントになっていることもわかった。港を利用してもらうということは意外と難しく、課題が盛りだくさんだということも理解できた。日本に多くある港の活用について考えていきたい。

- ・ 今までクルーズとは無縁の環境で生きてきたので、今回このようなことを考える機会を作っていただき、とてもよい勉強になりました。
- ・ クルーズ誘致は、地域活性化にはとてもいいものだと感じた。それを仕事にすることはとても責任があり、また誇らしいことであると思った。ターミナル建設などは、国や自治体が法律を整えたり、補助金を出すなどして、取り組んでほしい。
- ・ クルーズ客船誘致をすることによって、少なくとも地域活性化はすると思います。そのためには、港湾施設の充実や港周辺の交通網の整備なども必要だと思います。クルーズ客船に乗っている人が寄港地で何をしたいのかというニーズを考えながら、港周辺地域の再開発を行えばいいのではないかと考えました。
- ・ 魅力ある地域の良さをもっと広めていくためにクルーズを活用していきたいと思いました。
- ・ 各港によって、抱えている課題が様々で、大変だなという印象を受けました。また、港の整備には思っている以上に大規模な金額がかかることにも驚きました。各自自治体が協力してクルーズ船の認知度を高めたり、観光地の活性化をしたり、やるべきことはたくさんあるなと感じました。



(2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしむけての若い世代からの視点)

- ・ クルーズ誘致に一定の効果は見込めるのだろうか、という印象で、あまり社会的意義は大きくないのでは？というのが所感です。日本の観光産業に足りていないのは欧米からの観光客であり、これはまさにクルーズ旅行の弱点でもあるからです。
- ・ 若者にとっては、余暇を取るのが手軽化しなければクルーズ利用は難しい
- ・ 若い人にとってクルーズは年配の方が乗るもの、費用が高いというイメージであると考えられるため、クルーズの良さを若い世代に積極的に発信していくべきだと考える。普段飛行機や電車での移動がメインになるため、船を移動手段として考えるきっかけがあるといいと思う。
- ・ 「クルーズ旅行」というと、やはり「高価」「時間がかかる」など、どこか一般人からはかけはなれたところにあるもののように感じます(乗る前までは私がそうでした)。しかし、そのようなマイナス要素があってもなお乗りたいと思えるだけの魅

力がクルーズにはありました。まだまだ旅行の手段としてクルーズは選択肢にも入らないと思うので、もっと観光の会社からその魅力を発信してほしいと思いました。

- 毎日が忙しい日本人にはなかなか手の付けられないものではあるが、クルーズがもっと人気になって、日本人にslow lifeが浸透してくれたらうれしい。若い世代には、やはり金銭面の面で手の付けられないというイメージがあるため、もっと値段以上の内容にしてアピールしていけばいいと思う。
- 大学生のニーズはもっと掘り起こせるのではと思う。一部の船内サービス、例えば部屋の掃除とかセルフサービスにしても良いと思う、その上で格安のクルーズ旅行を販売するなど、費用の面をクリアできれば参加したいと思う学生は多いのでは。
- なんとんでもクルーズは費用がかかるものだというイメージが先行しているので、そこを正さないといけないと思います。クルーズは決して富裕層だけのものではないと今回わかりました。クルーズ会社はその部分を宣伝していくべきです。また、船と他の乗り物の大きな違いは個室があることだと思います。そのことは小さい子供連れの家族には大きなプラスポイントだと思うので、若い世代といっても若い家族に狙いを定めるのも良策だと思います。
- 自分は今まで旅行は目的地での活動がメインであって行くまでの飛行機などでの移動はただの手段としか考えていなかった。しかしクルーズでは目的地での活動と同じくらい船内での活動が充実していて付加価値をうんでいるとわかった。このような付加価値は特に今回の自分たちような大勢の学生で大きくなると思うので学生がクルージングにもっと参加したくなるような策をこうじていくべきなのではないかと思う。
- クルーズの社会的意義については、寄港地への経済効果、賑わいの育成にあると考える。特に、人口減少、観光客の伸び悩みを問題として抱える地方港への効果は大きなものであろう。また、クルーズのニーズについては昨年度のアカデミーでも扱った休暇という面がボトルネックになっていると考えられる。カボタージュの問題も残るが、1泊～2泊程度の短期間のクルーズを提供しても面白いのではないかと考える。
- 日本では長期休暇が取りにくいこともあり、今回もそうだったがどちらかというと若者層はほとんど乗っておらず高齢層がクルーズに乗っている印象を受けた。私たち世代の若者が今後休暇を使ってクルーズに乗れるような方向性になれば日本国内



でクルーズ業界が盛り上がるのかもしれない。

- ・ 観光立国日本を推進するためには絶対に素通りできないcontentsがクルーズだと思う。特に小さな町でも、船さえ受け入れられる体制があれば一気に観光客を稼ぐことができる一攫千金のチャンスだと思う。港湾はハード面に苦勞することも多々あるので、今後どのように発展するのが効率的か考えていく必要がある。
- ・ クルーズの社会的意義は、他の旅行が提供できない優雅さにあると思う。人が旅をしたいと思う理由は様々だと思うが、その中の非日常的な場所でゆっくりと過ごしたいと考える人々にとっては、これ以上ない最良のものであると思われる。



振興するために、ハネムーンなどのプランとして広報するのもいいかと思った。ハネムーンならば、費用を惜しみもしないであろうし、他の人が行わないような結婚プランは魅力的だと思う。

- ・ クルーズといえばやはり、敷居といった意味でも金銭的な意味でもお高いといったイメージがもたれがちであるが、クルーズの費用は移動手段も混みでむしろお得な旅であるといったイメージをもってもらえれば、より広い世代に受け入れられると考える。また、やはり自分も今回のような旅で、クルーズにまた行きたいと思えるようになるので、まずは気軽に参加してもらうことがクルーズ振興の肝である。
- ・ 先程も述べましたように、日本海側などの、誘致に地形上の問題が生じてくる湾港につきましてはある程度達成したら限界というものがあるのではと考えます。日本全体の経済を考えるのでしたら、現時点で寄港の多いところや、今から増加する見込みのある湾港について、もっと資金を投資していくべきではないかなと考えます。
- ・ 今後訪日外国人の増加が予想されるので、クルーズの貢献はとても期待されていると思う。しかし、日本人の利用に目を向けると以下の3つの点でクルーズはニーズが少ないと考えられる。「1. 日本人は長期休暇をあまりとれない(とらない) 2. クルーズはどこから乗っても定額 3. カボタージュ」 クルーズは最初から最後まで乗るのが圧倒的に効用が大きい。しかし、日本人はそんなに長く休暇を取らない。かといって、時間のある大学生などはお金がなくて乗れない。
- ・ 都市への人口集中が進む中で、過疎が進みがちな地方、特に港町の活性化をするという重要な意義がある。また、僕なんかはあまり高貴な家の生まれでは無いのでクルーズを全く知らず、数百万はするという勝手なイメージから知ろうとすらしてい

なかった。そういった若い人も多いと思うので、まずは閑散期で比較的高くないクルーズプランを大学生協を通して販売してみたらどうだろうかと感じる。生協で推されているスキー・免許合宿・海外旅行は大学で飽きるほどポスターを見かけているので、生協と組む事で例え売り上げの面では伸びなかったとしても、とりあえずクルーズの存在を知ってもらうという点では一定の成果を挙げられるだろう。もちろん簡単な話では無いただろうし、乗船客のマナー低下・雰囲気悪化といったデメリットが起こる可能性も考慮に入れる必要はあるが、検討する価値のある施策だと考えている。

- ・ 経済効果は大きいだろう。外国人観光客に依存しすぎるのは危険だし、今後の需要もどのように推移していくかは不透明だ。多くの日本人にとってクルーズ船に乗ること自体、想像すらしないことだろうから、日本人向けや若い世代へのアピールは確かに必要だろう。
- ・ クルーズと聞くと、年配の方が利用しているのかと考えていた。しかし、若者はクルーズの良さを知らないだけであって、知るきっかけがあれば絶対に、はまる人がいると思う。まだ、クルーズに出会っていない人が多いと思うので、ネットワーク社会である今、時間はかかると思うが、情報をみんなで共有し、広めることが出来たらいいなと考える。
- ・ まだまだ旅行の際に交通手段を船にしようという発想は少ないと思います。新幹線や飛行機が一般的です。そして、船という交通手段との発想になる。しかし、船は中での楽しみが多い。私はクルージングは高いというイメージがありました。そのイメージの払拭のために、大学内にある旅行を紹介している会社にクルージングのお得なパックのちらしなどを置いて、船という手段も候補に入れてもらうなど、マイナスなイメージをプラスに変えることが大切だと思いました。
- ・ 今回の価格帯はほんとお手頃で若い人には良いと感じた。しかし、クルーズはやはり価格帯が高いので若い人には興味を抱かれないのではと不安の面もある。船の中では食事などインクルーズされていることは、伝わっていないように思う。今後、航空業界でLCCがあるようにクルーズもそのようなもの（例えば、食事有料などでもいいかもしれない）があつて、選択肢も広がればさらに幅広い層が興味を抱くと思う。
- ・ 今はまだ、クルーズに乗る若者はそう多くありません。実際、私の周りでクルーズに乗ったことがあるという話は20年間聞いたことがないです。しかし、今回乗ってみて初めてクルーズの良さというものがわかりました。クルーズは決して安いと言える価格ではありません。学生割引や、初回値引きなど、価格戦略を実践していくことも大事なかなーと思いました。
- ・ クルーズに参加して思ったのが、やはり年配の方々が多いことである。クルーズを振興するには、若者を取り込むことが大事であるが、日本では、若者は3、4日も休

みをとることはかなり厳しいのではないかと思った。

- ・クルーズは私たち若者でも十分に楽しむことができましたが、乗っているひとは高齢層の方が多かったです。そもそもクルーズで旅行に行こうという概念が選択しの中にないのです。若い世代にもクルーズ船に乗船してもらうには、もっと宣伝をしたり、旅行会社と提携して、若者への情報提供をしなければならないと思います。
- ・学校の部活団体に旅行として一人3万円くらいで案内すれば参加者が増えると思います。夏休みや卒業シーズンなどに案内したらよいと思いましたが。
- ・クルーズ船が寄港することによる経済効果は強力なので、港の改善や、クルーズ船のニーズ拡大などより力を入れていくべきだと思いました。船内には年配の方が多かったですが、私たちでもとても楽しむことができたので、若者向けのサービスも展開するとより人気が出ると思いました。



編集後記

今回のスマート・クルーズ・アカデミーは、関東からの大学生(東京工業大学大学院生)も参加し、多様な大学生が集まった。船内では、港湾の有効活用についての議論を行った。今回の乗船体験は、参加学生の今後の人生に大きな影響を与えるであろう。本報告書の作成において、大石昌宏氏にお世話になった。ここに記して感謝の意を表したい。